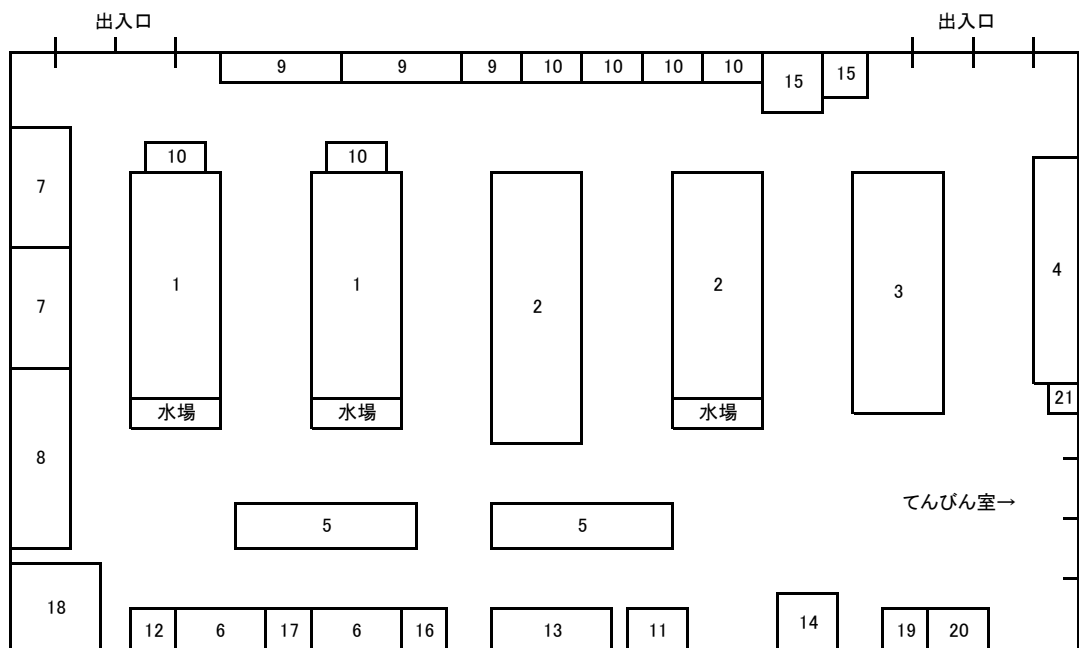


参考資料 4-13 実験室参考レイアウト

⑤横浜税関：化学分析室（化学実験室）



緊急用シャワー及び洗眼器は、両者が一体型のもの、またはそれぞれ独立したものを並べて設置し、スペース外に漏水せずに排水する機構を有すること

給湯器（都市ガス対応のもの）ステンレス流し近傍に1台配置する
ガス検知器を近傍に設置

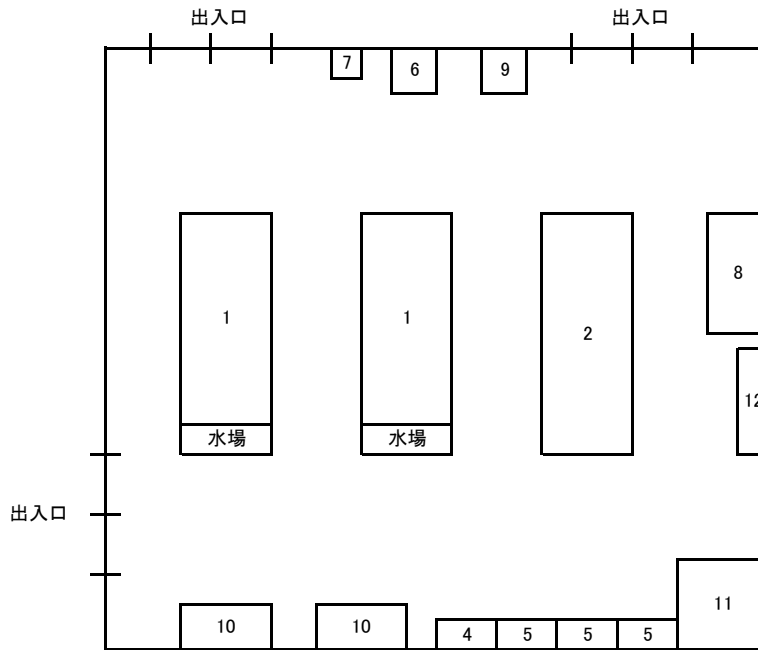
ドラフト付近にもガス検知器を適宜の箇所に設置

扉(出入口)
幅1間以上、高さ2000mm以上の両開きもので外開きとし、小窓及びガラリを有し、施錠可能であること

窓
窓の有無は問わない
設置する場合は、床面より800mm以上の位置に設置する腰高窓とし、遮光用ブラインドカーテンを備える

換気
第一種換気(正圧負圧制御可能)
ドラフトチャンバーを全台同時に稼働させた場合であっても、扉の開閉が容易に可能であること
作業台近傍実験室内空きスペースに椅子及び移動キャビネットを配置する
実験室の適宜の位置に二酸化炭素式消火器を設置する

- 1.作業台
 - (机上 超音波洗浄機
 - 棚中 デジタル塩分計、手持屈折計、pHメーター×4、ガス圧計×2、ハンディUVランプ)
 - 2.机上 電気泳動装置、フラベンダービスコグラム、電位差滴定装置、紫外可視分光光度計
水蒸気発生装置、多連式スターラー、電子上皿天秤、ホットプレート
 - 3.机上 屈折計、ふるい振とう機、スターラー
棚中 ワンダーブレンダー、自動セルマスター、ジューサーミキサー、肉挽き機、浮標×6組
機器用プリンター(予備)
 - 4.ドライオープン×4(作業台下 マントルヒーター×3)
 - 5.作業台(机上 ビベット格納箱)
 - 6.ステンレス流し(近傍に給湯機)
 - 7.ドラフトチャンバー(チャンバー内 ヒーター×4、ドライブロックバス)
 - 8.ドラフトチャンバー(ミストスクラバ含む チャンバー内 ケルダール分解装置)
 - 9.戸棚(実験器具収納) 棚上 デンケーター×3、ビュレットケース)
 - 10.ドライングシェルフ、乾燥機付器具保管庫(実験器具収納)
 - 11.超音波洗浄機
 - 12.ビベット洗浄層、フラスコ洗浄機
 - 13.検糖計
 - 14.インキュベーター
 - 15.冷蔵冷凍庫
 - 16.ケルダール蒸留装置
 - 17.純水製造装置
 - 18.緊急用シャワー
 - 19.真空減圧乾燥機
 - 20.マッフル炉
 - 21.振とう機
- 水蒸気発生装置、12、16及び17は給排水機構の近傍に配置する



- 1.作業台(下方吸引)(机上) 小型微量遠心機、試験管ミキサー、超音波洗浄機、スターラー、ノギス、電子上皿天秤
- 2.机上 ホットプレートスターラー、冷却卓上遠心機、遠沈管比重計、光学顕微鏡×3
机中 デジタルマイクロスコープ用レンズ、気体測定器×2
- 4.薬品用ショーケース
- 5.ドライングシェルフ、乾燥機付器具保管庫(実験器具収納)
- 6.冷蔵冷凍庫
- 7.試料粉碎機
- 8.ドラフトチャンパー
- 9.遠心分離機
- 10.ステンレス流し
- 11.緊急用シャワー
- 12.戸棚(消耗品等収納)

緊急用シャワー及び洗眼器は、両者が一体型のもの、またはそれぞれ独立したものを並べて設置し、スペース外に漏水せずに排水する機構を有すること

給湯器(都市ガスまたはLPG対応のもの)
ステンレス流し近傍に1台配置する
ガス検知器を近傍に設置

ドラフト付近にもガス検知器を適宜の箇所に設置

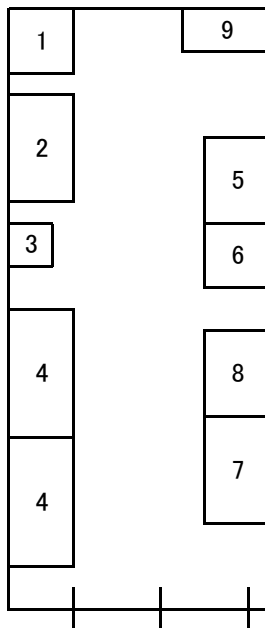
扉(出入口)
幅1間以上、高さ2000mm以上の両開きもので外開きとし、小窓及びガラリを有し、施錠可能であること

窓
窓の有無は問わない
設置する場合は、床面より800mm以上の位置に設置する腰高窓とし、遮光用ブラインドカーテンを備える

換気
第一種換気(正圧負圧制御可能)
ドラフトチャンパーを全台同時に稼働させた場合であっても、扉の開閉が容易に可能であること

作業台近傍実験室内空きスペースに椅子及び移動キャビネットを配置する

実験室の適宜の位置に二酸化炭素式消火器を設置する



- 1.冷却水循環装置
- 2.X線回折装置
- 3.PCラック
- 4.作業台
- 5.蛍光X線分析装置
- 6.PC台
- 7.液体窒素製造装置
- 8.デュワー瓶等
- 9.戸棚

すべて壁際配置が望ましい

機器はすべて架台及び制御用電算機を含むものとする

棚は分析用消耗品収納用

室内に酸素濃度計を設置する

PC近傍に椅子、作業台近傍に椅子及び移動キャビネットを配置する

高圧ガス保安法に係る横浜市高圧ガス製造者としての許可要件を満たすこと

室外に高圧ガス製造に係る表示を要する

扉(出入口)

幅1間以上、高さ2000mm以上の両開きもので外開きとし、小窓及びガラリを有し、施錠可能であること

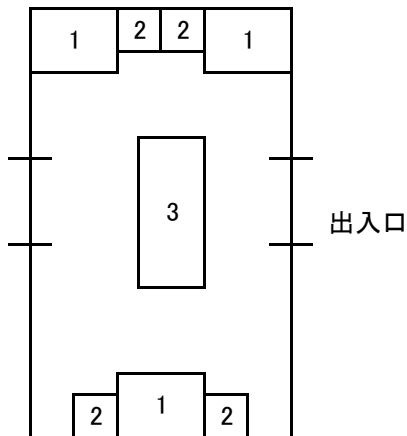
換気

第一種換気(負圧)、常時換気

窓

窓の有無は問わない

設置する場合は、床面より800mm以上の位置に設置する腰高窓とし、遮光用ブラインドカーテンを備える



- 1.てんびん×3
- 2.移動キャビネット
- 3.作業台

てんびんは壁際に配置した除振台上に設置する

除振台1台につき1脚の椅子を要し、また作業台近傍に2脚の椅子を要する

個別空調を要し、常時空調とし、温度及び湿度の監視を行うこと
空調の風が機器に直接当たらないこと

扉

てんびん室へは化学実験室及び物理実験室の両室から出入り可能な扉を有する
なお、当該扉は施錠の可否を問わない

扉はプッシュ式自動ドアで片引きとし、気密性はJIS A 4702基準においてA-4を満たすこと
幅900mm以上、高さ2000mm以上で、小窓を有する

換気

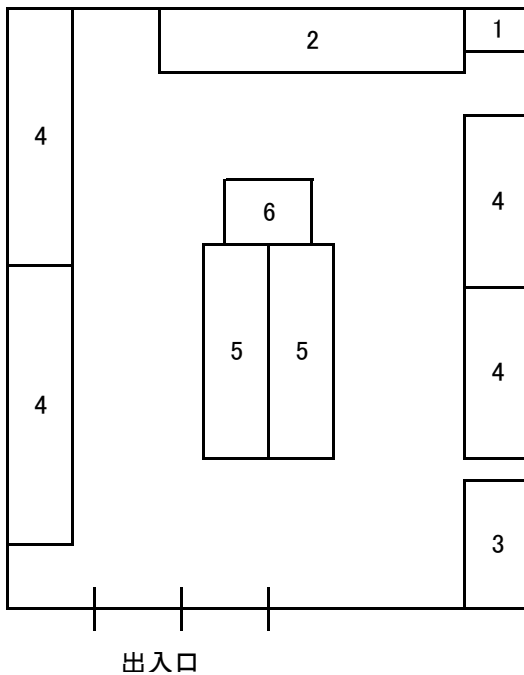
第一種換気(正圧)

窓

窓の有無は問わない

設置する場合は、床面より800mm以上の位置に設置する腰高窓とし、遮光用ブラインドカーテンを備える

気密性はJIS A 4702基準においてA-4を満たすこと



- 1.窒素ガス発生装置
- 2.LC/MSMS
- 3.イオンクロ
- 4.LC×3
- 5.作業台、超純水製造装置
- 6.戸棚

5、6以外は壁際配置

機器はすべて架台及び制御用電算機を含むものとする

棚はカラム及び機器消耗品収納用

1及び2は近傍に配置する

室内に酸素濃度計を設置する

個別空調を要し、室温は常時28度以下とする
空調にはシールドを設置し、機器に直接風が当たらない様にする

2の近傍に純窒素ガスポンペを配置する。

扉(出入口)

幅1間以上、高さ2000mm以上の両開きもので外開きとし、小窓を有し、施錠可能であること

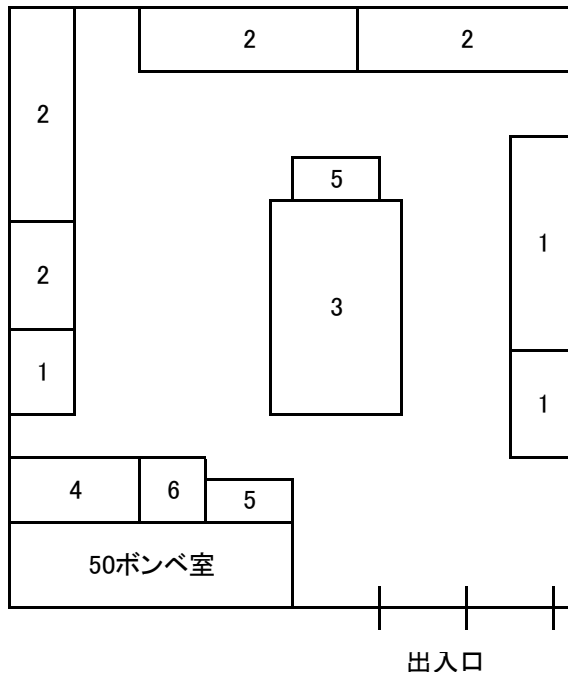
換気

第一種換気(負圧)

窓

窓の有無は問わない

設置する場合は、床面より800mm以上の位置に設置する腰高窓とし、遮光用ブラインドカーテンを備える



- 1.GC/FID×3
- 2.GC/MS×4
- 3.作業台
- 4.水素ガス発生装置及び排気配管
- 5.戸棚
- 6.PCラック

3以外は壁際配置

機器はすべて架台及び制御用電算機を含むものとする

棚はカラム及び機器消耗品収納用

個別空調を要し、室温は常時28度以下とする
空調にはシールドを設置し、機器に直接風が当たらない様にする

室内に二酸化炭素式消火器を設置する

各分析機器に対し、50ポンベ室よりヘリウムガス、純空気を供給し、分析機器近傍の精密圧力調整器を通じて機器に供給される機構を要する

水素発生装置から11に水素を供給する配管を要する

室内の適宜の位置に水素ガス検知器及び酸素濃度計を設置

扉(出入口)

幅1間以上、高さ2000mm以上の両開きもので外開きとし、小窓を有し、施錠可能であること

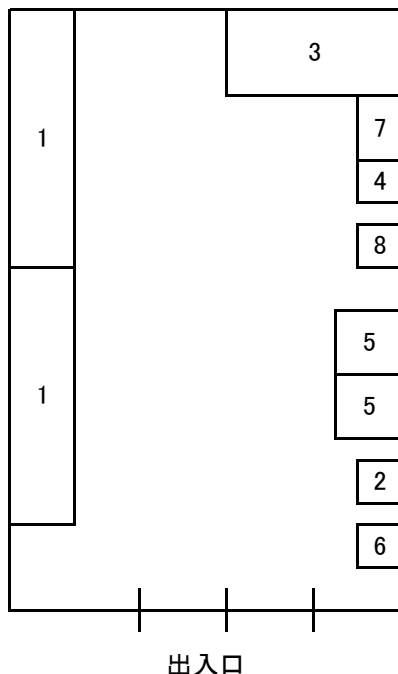
換気

第一種換気(負圧)

窓

窓の有無は問わない

設置する場合は、床面より800mm以上の位置に設置する腰高窓とし、遮光用ブラインドカーテンを備える



- 1.トランスイルミネーター
PCR
泳動層
ヒートブロック
破碎機
分光光度計
作業台
- 2.オートクレーブ(据置)
- 3.エチプロ廃棄スペース
- 4.製氷機
- 5.冷凍庫
- 6.遠心機(据置)
- 7.ステンレス流し
- 8.電子レンジ

1及び3は架台込

トランスイルミネーターは制御用電算機及び専用印刷機を含むものとする

2及び3は給排水機構近傍に配置する

すべて壁際配置が望ましい

棚はDNA分析用消耗品収納用

冷凍庫は標準DNA及びプライマーの保管に使用

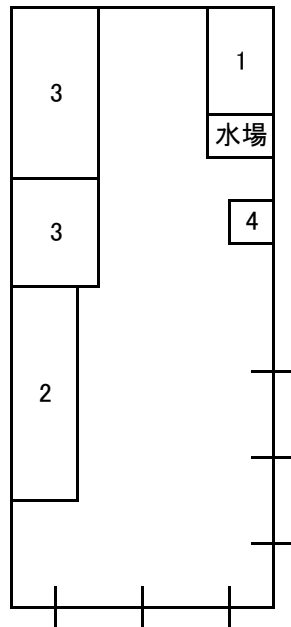
分析にエチジウムブロマイド(強発がん性物質)を用いるため、専用の廃棄スペースを設ける

給湯器(都市ガス対応のもの)
都市ガス検知器を適宜の箇所に設置

扉(出入口)
幅1間以上、高さ2000mm以上の両開きもので外開きとし、小窓を有し、施錠可能であること

換気
第一種換気(正圧)

窓
窓の有無は問わない
設置する場合は、床面より800mm以上の位置に設置する腰高窓とし、遮光用ブラインドカーテンを備える



- 1.ウオーターバス(ドラフト外)
- 2.エバポレーター
恒温水槽
- 3.ドラフト×2
- 4.遠心機(据置)

ドラフト(電源及び給排水機構付)

- 1.ウオーターバス(ドラフト内)
- 2.作業用兼廃棄溶剤等保管用

機器はすべて架台込

1及び2は給排水機構の近傍に配置する

すべて壁際配置が望ましい

棚は分析用器具納用

室内の換気機構を有すること

室内に二酸化炭素式消火器を設置する

扉(出入口)

幅1間以上、高さ2000mm以上の両開きもので外開きとし、小窓及びガラリを有し、施錠可能であること

(石油実験室)自動閉止機構付の引き戸とし、耐火素材製とする

施錠の可否は問わない

幅900mm以上、高さ2000mm以上のもの

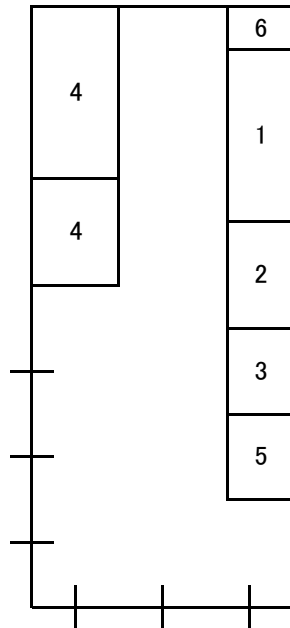
換気

第一種換気(負圧)

窓

窓の有無は問わない

設置する場合は、床面より800mm以上の位置に設置する腰高窓とし、遮光用ブラインドカーテンを備える



- 1.密度計
恒温水槽
- 2.蒸留装置
- 3.硫黄計
- 4.ドラフト
- 5.表面張力計
デジタル気圧計
- 6.ステンレス流し

機器はすべて架台込

5以外はすべて壁際配置が望ましい

恒温水槽の給排水はドラフトの給排水装置を使用するため3及び4は近傍に配置

棚は分析用器具納用

室内の換気機構を有すること

室内に二酸化炭素式消火器を設置する

ドラフト(電源、給排水機構及び都市ガス供給機構付)

- 1.残炭計×2(ガス×1)
 - 2.引火点測定装置×2(ガス×2)
- ガス検知器を適宜の箇所に設置

扉(出入口)

幅1間以上、高さ2000mm以上の両開きもので外開きとし、小窓及びガラリを有し、施錠可能であること

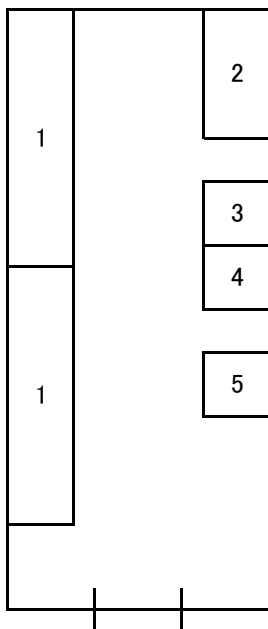
(石油実験室)自動閉止機構付の引き戸とし、耐火素材製とする
施錠の可否は問わない
幅900mm以上、高さ2000mm以上のもの

換気

第一種換気(負圧)

窓

窓の有無は問わない
設置する場合は、床面より800mm以上の位置に設置する腰高窓とし、遮光用ブラインドカーテンを備える



- 1.乾燥保管庫(卓上)
ドラフト(卓上)
作業台
- 2.IR(顕微装置含む)
- 3.IR
- 4.PCラック
- 5.コンプレッサー

すべて壁際配置が望ましい

IRは架台及び制御用電算機を含むものとする

個別空調を要し、常時空調とし、温度及び湿度の監視を行うこと
空調の風が機器に直接当たらないこと

遮光室として使用するため窓をつけない

室内に温度計及び湿度計を設置する

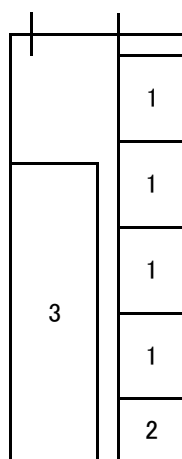
通常の蛍光灯の他、暗室用赤色灯及び室外に使用中である旨を指示する指示灯を配備する

扉(出入口)

幅1間以上、高さ2000mm以上の両開きもので外開きとし、小窓を有し、施錠可能であること
小窓は暗幕等遮光用の機構を有し、隙間はすべて目張りを施す

換気

第一種換気(負圧)



- 1.戸棚
- 2.冷蔵冷凍庫
- 3.予備分析機器

棚及び冷凍・冷蔵庫はすべて転倒防止策施工済みのものを壁際に配置

室内の換気機構を有すること

扉(出入口)

幅900mm以上、高さ2000mm以上の片開きもので外開きとし、小窓を有し、施錠可能であること

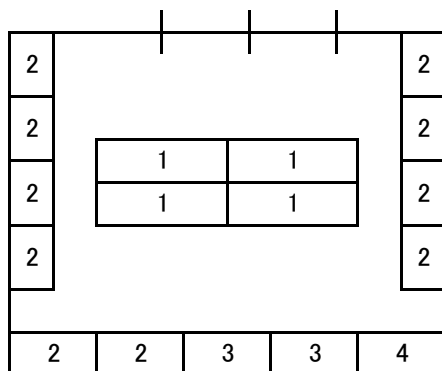
換気

第一種換気(負圧)

窓

窓の有無は問わない

設置する場合は、床面より800mm以上の位置に設置する腰高窓とし、遮光用ブラインドカーテンを備える



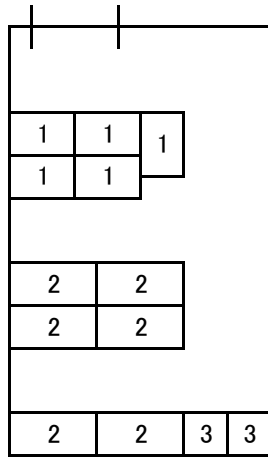
- 1.テーブル・椅子
- 2.書架
- 3.書架
- 4.書架

適宜施設可能な書棚並びに10人程度が同時に作業可能である作業テーブル及び椅子を設置する

換気指定なし、通常のもの

扉
幅1間以上、高さ1間以上の両開きで、小窓を有する

窓
窓の有無は問わない
設置する場合は、床面より800mm以上の位置に設置する腰高窓とし、遮光用ブラインドカーテンを備える



- 1.戸棚
- 2.戸棚
- 3.冷蔵冷凍庫

棚及び冷凍・冷蔵庫はすべて転倒防止策施工済みのもの配置

室内の換気機構を有すること

室内に二酸化炭素式消火器を設置する

扉(出入口)

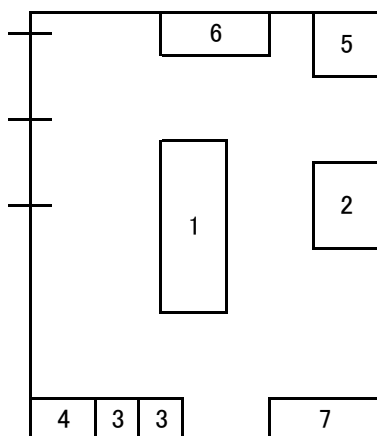
幅900mm以上、高さ2000mm以上の片開きもので外開きとし、小窓を有し、施錠可能であること

換気

第一種換気(負圧)

窓

窓の有無は問わない
設置する場合は、床面より800mm以上の位置に設置する腰高窓とし、遮光用ブラインドカーテンを備える



- 1.作業台
- 2.天秤
- 3.金庫
- 4.キャビネと金庫(キャビネット入り金庫)
- 5.冷蔵冷凍庫
- 6.棚
- 7.キーケース(各実験室の鍵等保管)等

出入口は執務室出入用とは別の機械警備および施錠を要す

金庫は薬物保管用冷蔵冷凍庫(現在物理実験室に配置)を含む

てんびんは壁際に配置した除振台上に設置する

すべて転倒防止策を施工し、壁際に設置する

室内には窓を設置しない

室内は5人程度が作業可能なスペースを有すること

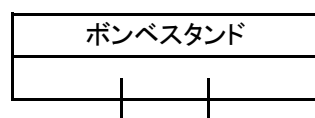
扉(出入口)

幅1間以上、高さ2000mm以上の両開きもので外開きの耐火扉とし、専用の機械警備を有し、施錠可能であること
施錠はパスコード式であっても差し支えない

換気

第一種換気(負圧)

覚せい剤取締法、麻薬及び向精神薬取締法、大麻取締法並びにあへん法に基づく保管場所の許可要件を満たすこと



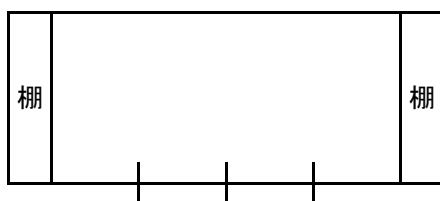
ポンベはすべて壁際に設置されたポンベスタンドに設置

室内に酸素濃度計を設置する

扉(出入口)
幅900mm以上、高さ2000mm以上の片開きもので外開きとし、小窓を有し、施錠可能であること

換気
第一種換気(負圧)、常時換気

室内に窓はつけない



棚はすべて転倒防止策施工済みのものを壁際に配置

室内の換気機構を有すること

部屋の出入口に産業廃棄物貯蔵施設であることを明示する

室内に二酸化炭素式消火器を設置する

横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例並びに同規則の基準を満たすこと

扉(出入口)
幅1間以上、高さ2000mm以上の両開きもので外開きとし、小窓を有し、施錠可能であること

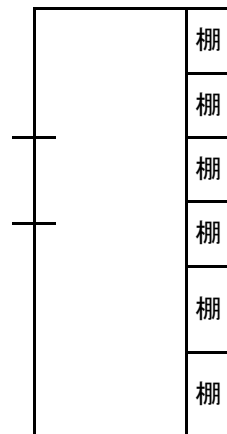
換気
第一種換気(負圧)、常時換気

室内に窓はつけない

室内照明は防爆のものとする

室内の温度及び湿度を室外から監視できる機構を有すること

室内に試薬が飛散した際に、室外に漏えいしない機構を有すること



棚はすべて転倒防止策施工済みのものを壁際に配置

室内の換気機構を有すること

部屋の出入口に第4類危険物貯蔵施設であることを明示する

横浜市火災予防条例に基づく少量危険物貯蔵施設の基準を満たすこと

室内に二酸化炭素式消火器を設置する

扉(出入口)

幅900mm以上、高さ2000mm以上の片開きもので外開きとし、小窓を有し、施錠可能であること

換気

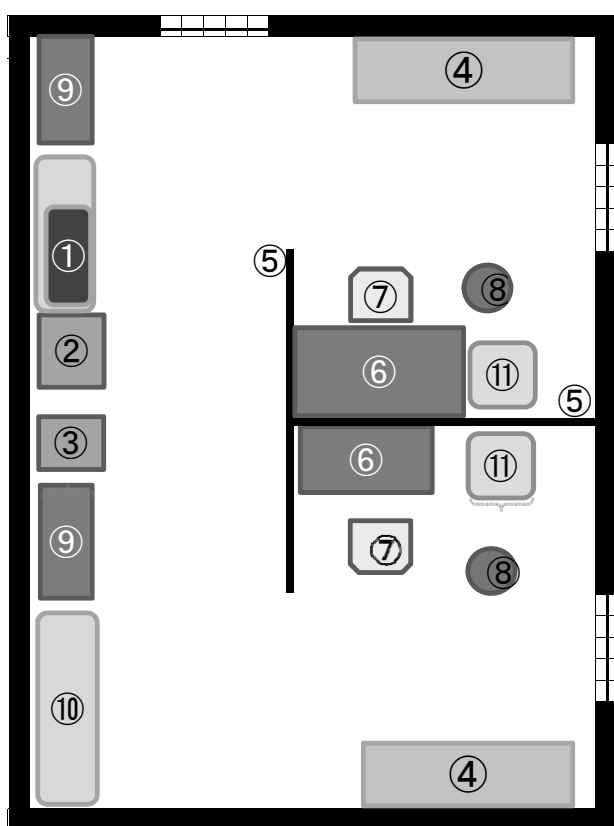
第一種換気(負圧)、常時換気

室内に窓はつけない

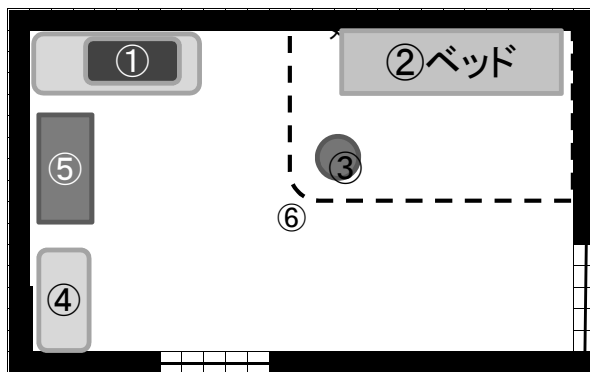
室内照明は防爆のものとする

室内の温度及び湿度を室外から監視できる機構を有すること

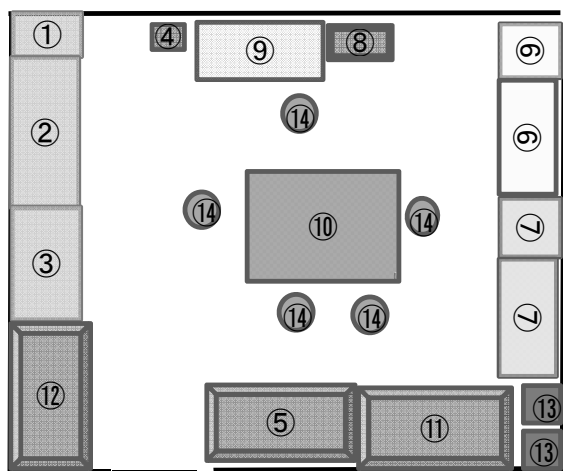
室内に試薬が飛散した際に、室外に漏えいしない機構を有すること



- ①シンク
- ②薬冷蔵庫
- ③UPS
- ④ベッド
- ⑤パーティション
- ⑥机
- ⑦椅子
- ⑧椅子
- ⑨処置台
- ⑩棚
- ⑪荷物置き

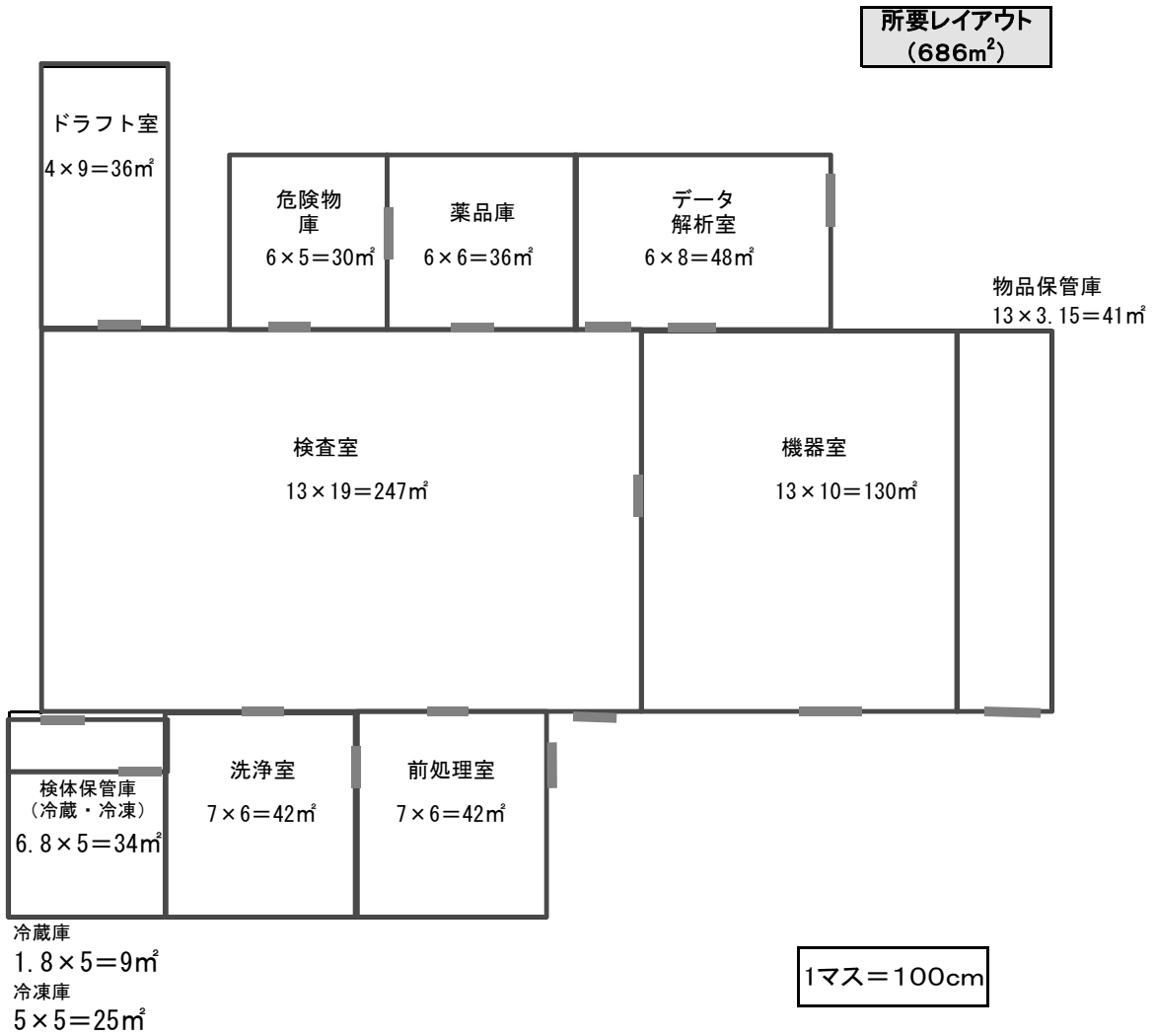


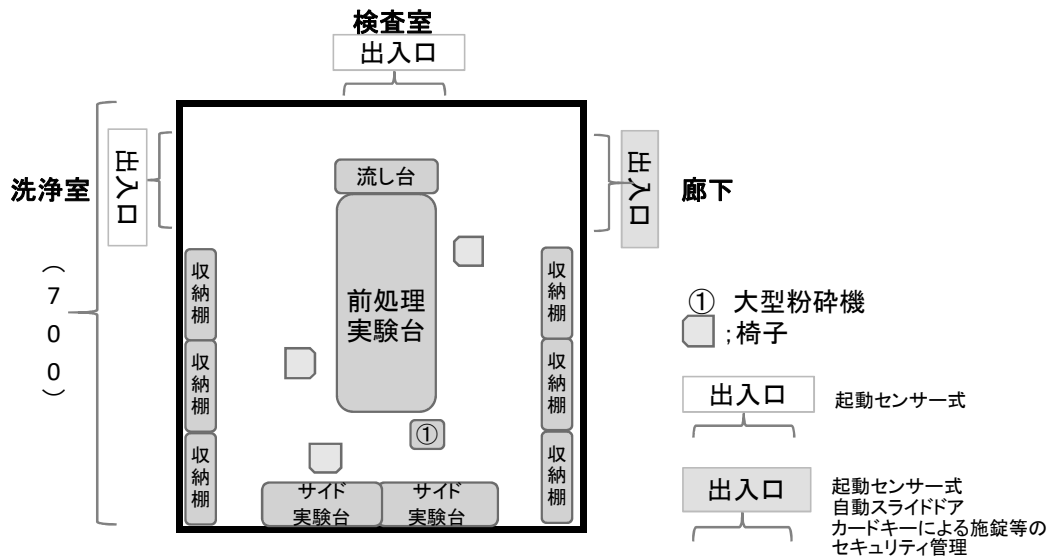
- ①シンク
- ②ベッド
- ③椅子
- ④棚
- ⑤救急カート
- ⑥カーテンレール



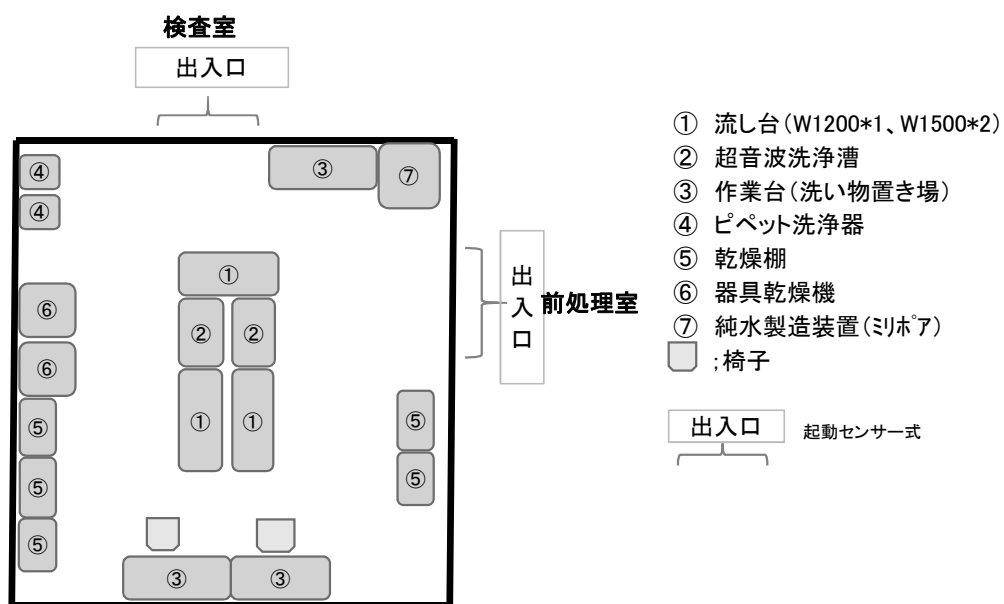
- ①乾燥機
- ②シンク
- ③洗浄作業台
- ④オートクレーブ
- ⑤機材保管棚
- ⑥冷凍庫
- ⑦冷蔵庫
- ⑧常温検体保管棚

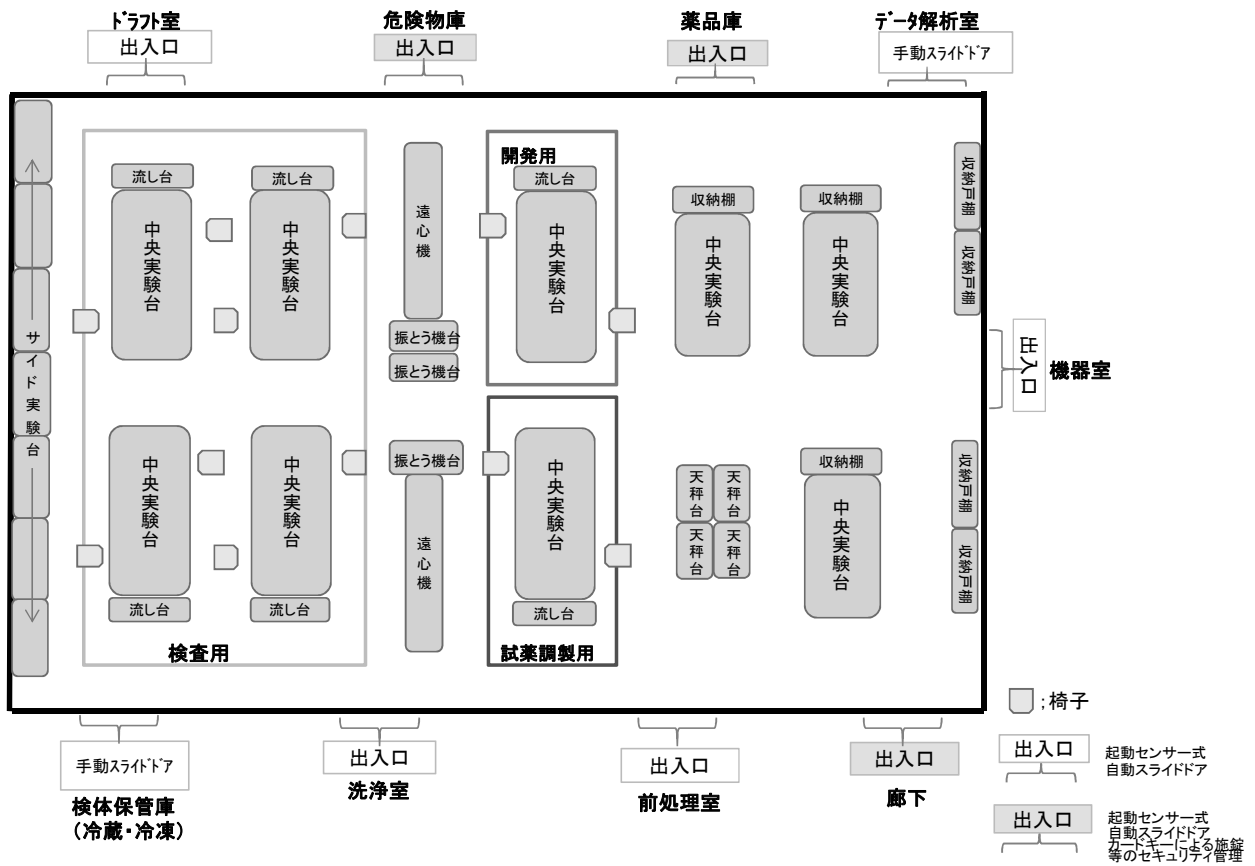
動物用医薬品検査区分全体図



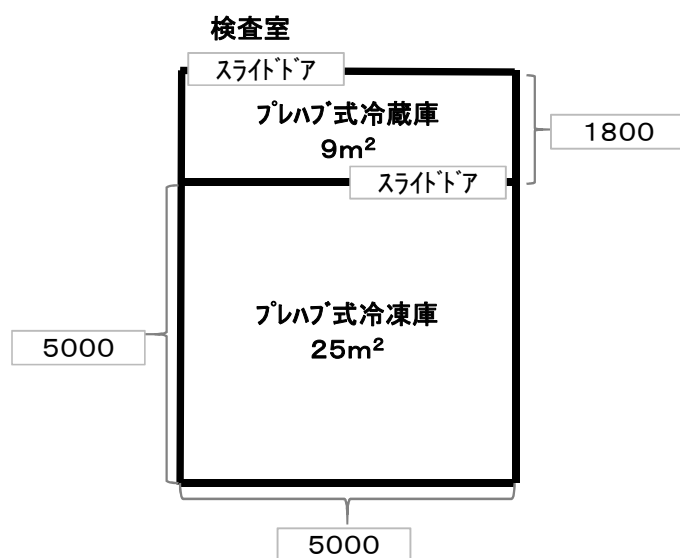


全国から到着した動物用医薬品に係る検体の前処理を実施する場所。使用状況：毎日使用。

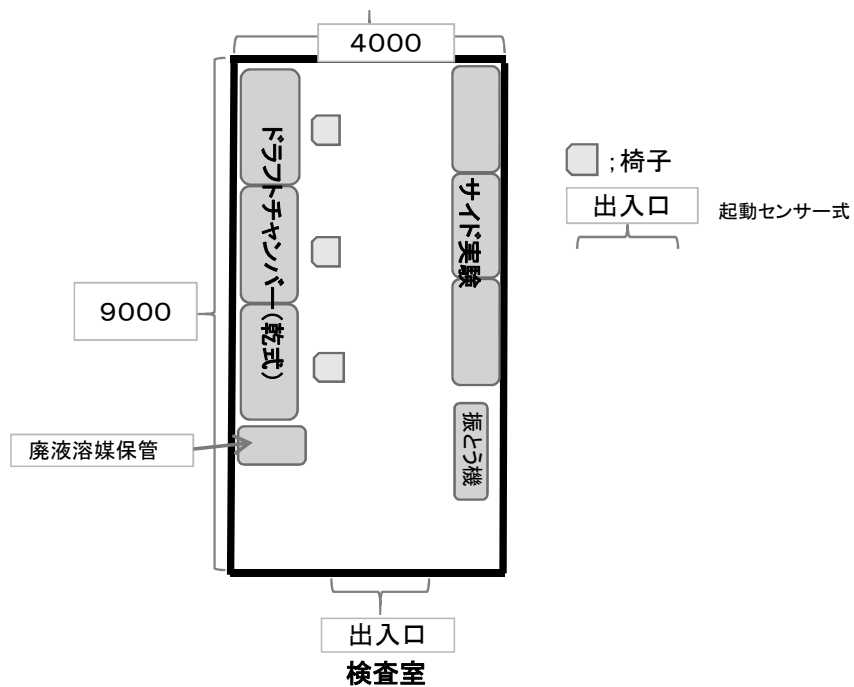




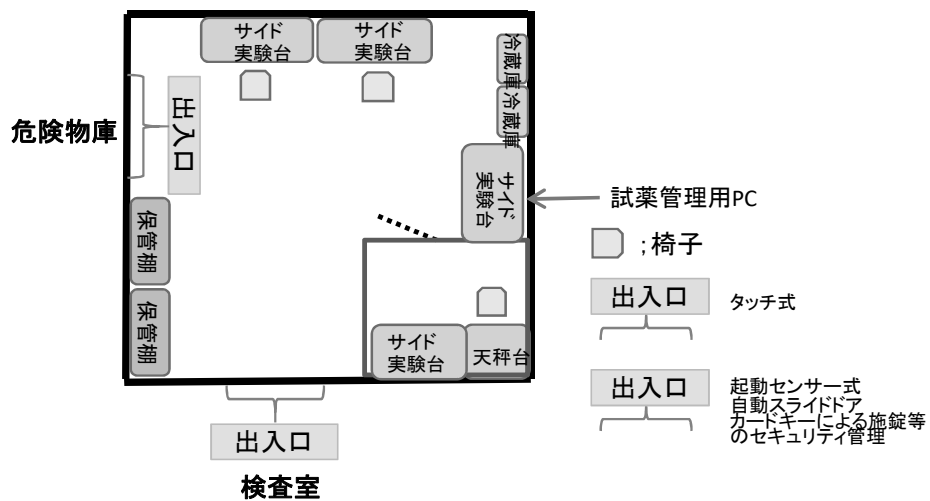
動物用医薬品の抽出精製を行う部屋である。中央実験台及びサイド実験台では有機溶媒を使用するため、実験台壁面からの排気に加え、卓上フードを設置して上部から排気ダクトを通して乾式スクラパーで浄化後、排出するシステムが必要。
使用状況：毎日。



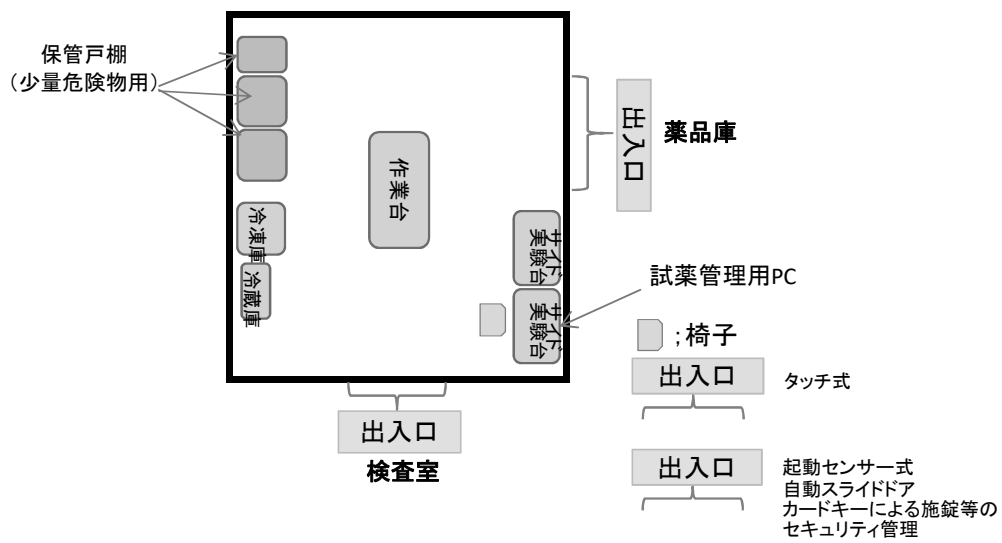
冷凍庫は検体の3ヶ月保管の置き場所。
冷蔵庫は検体等の一時保管場所。



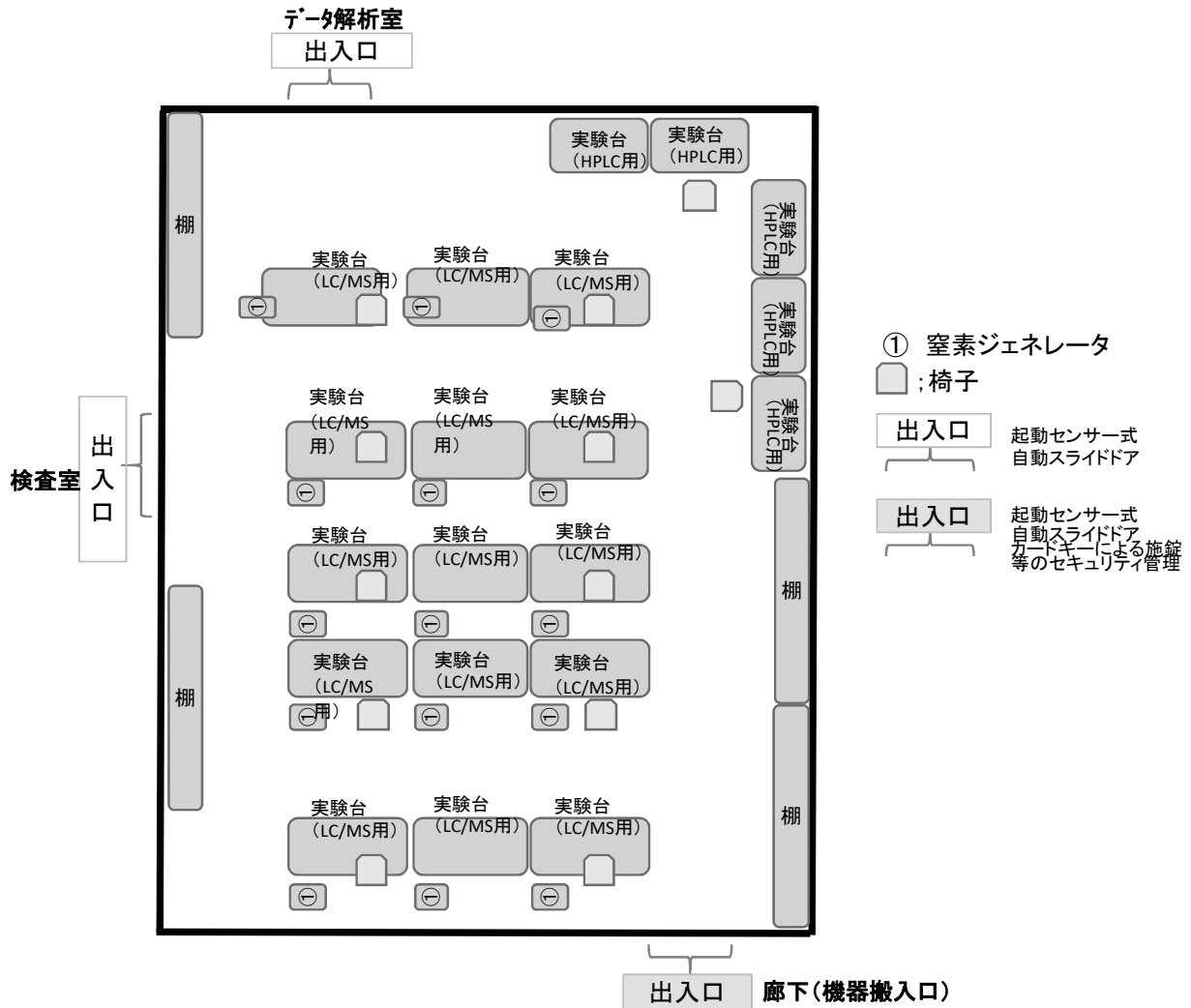
有機溶媒を扱う際に必要となる。ドラフトチャンバーの制御風速 $0.4\text{m/s} \sim 0.5\text{m/s}$ を維持できる能力の空調システム(ダクト、ファン、スクラバー等)が必要。使用状況：毎日使用。



薬品を保管する部屋で施錠が必要となる。薬品には常温保管、冷蔵保管、冷凍保管が決められているものがある。また、薬品の出し入れには試薬管理システムを使用し在庫管理をするため、端末を置く。使用状況：毎日。

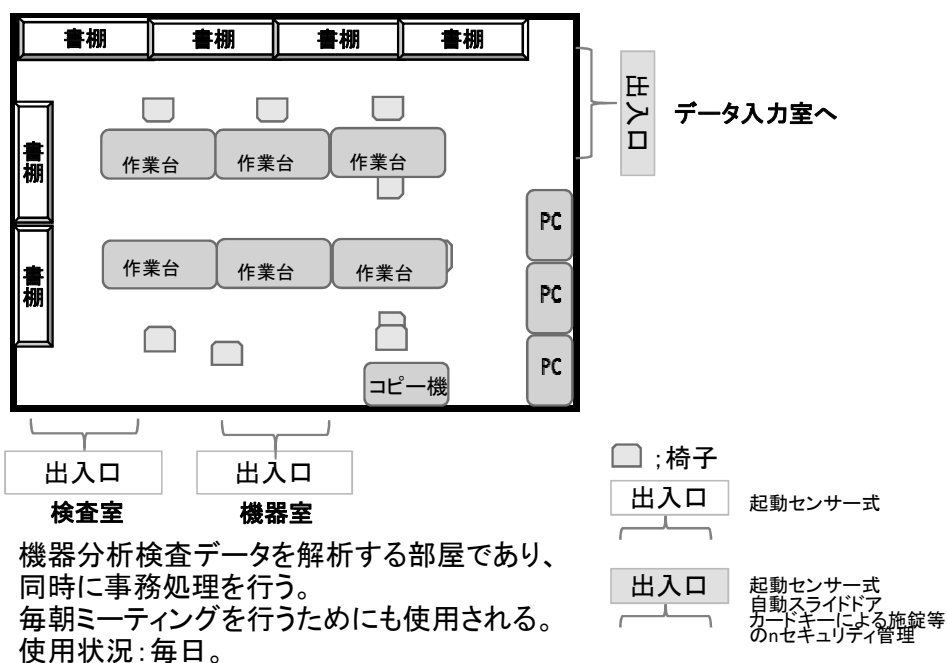


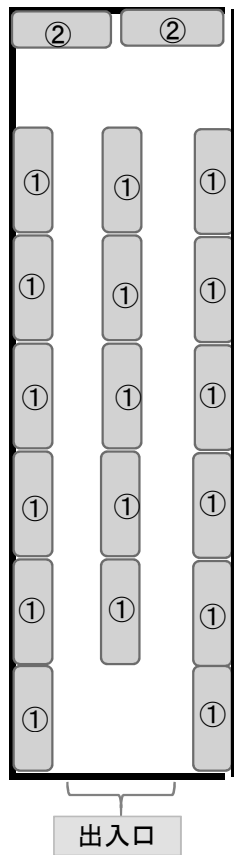
薬品の中で危険物に該当する物を保管する部屋で施錠が必要となる。危険物には常温保管、冷蔵保管、冷凍保管が決められているものがある。また、危険物の出し入れには試薬管理システムを使用し在庫管理をするため、端末を置く。使用状況：毎日。



抽出・精製された動物用医薬品を機器分析する部屋。主にHPLC(高速液体クロマトグラフ装置)とLCMSMS(タンデム液体マスプロトグラフ装置)があり、排熱処理が必須となる。

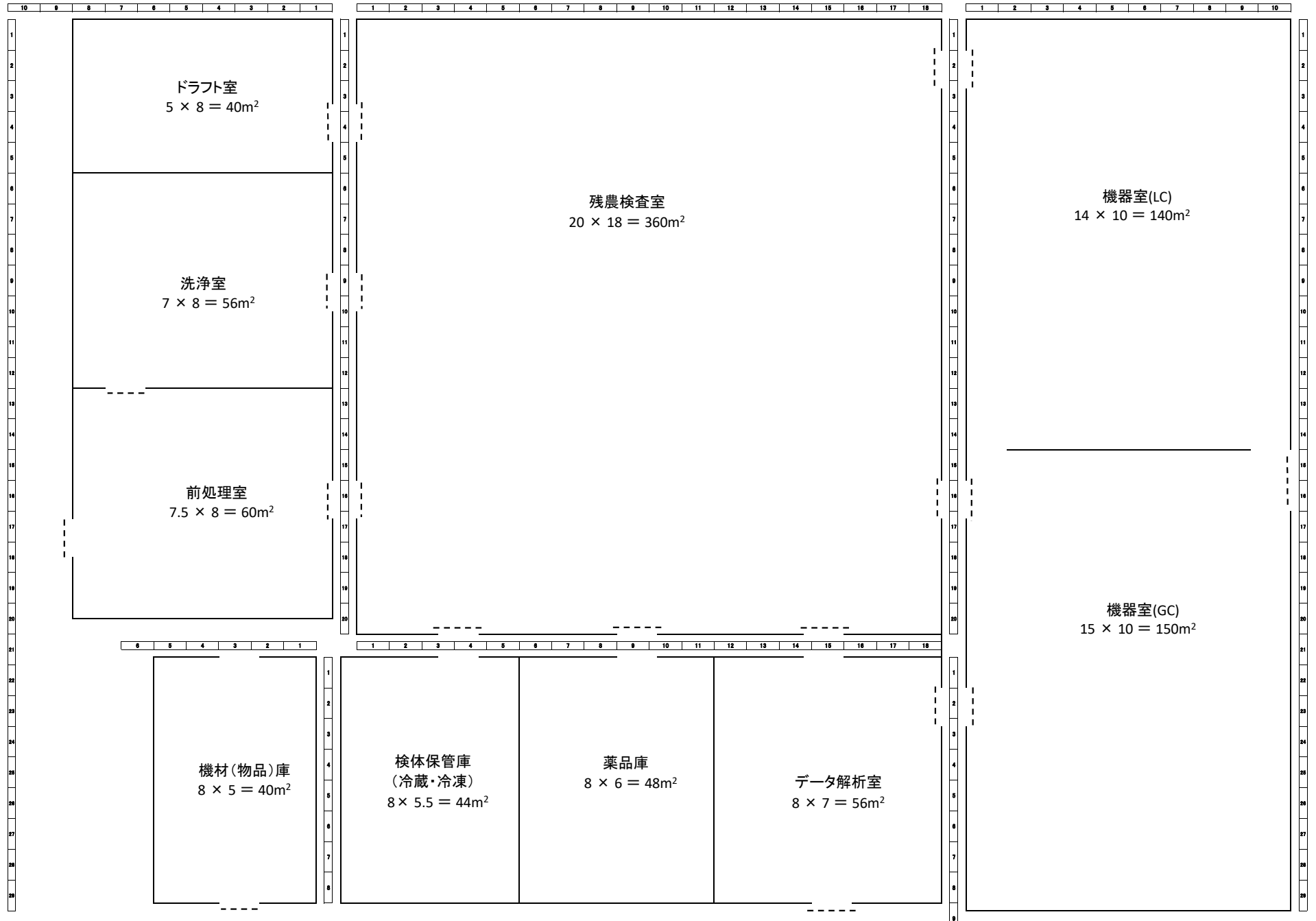
実験台の上部に排熱及び排気のための配管を有し、真空ポンプ及び機器から合成樹脂製の配管を接続する。これにより、ポンプ及び機器からの排ガスを合わせて外部スクラバーにて処理する。

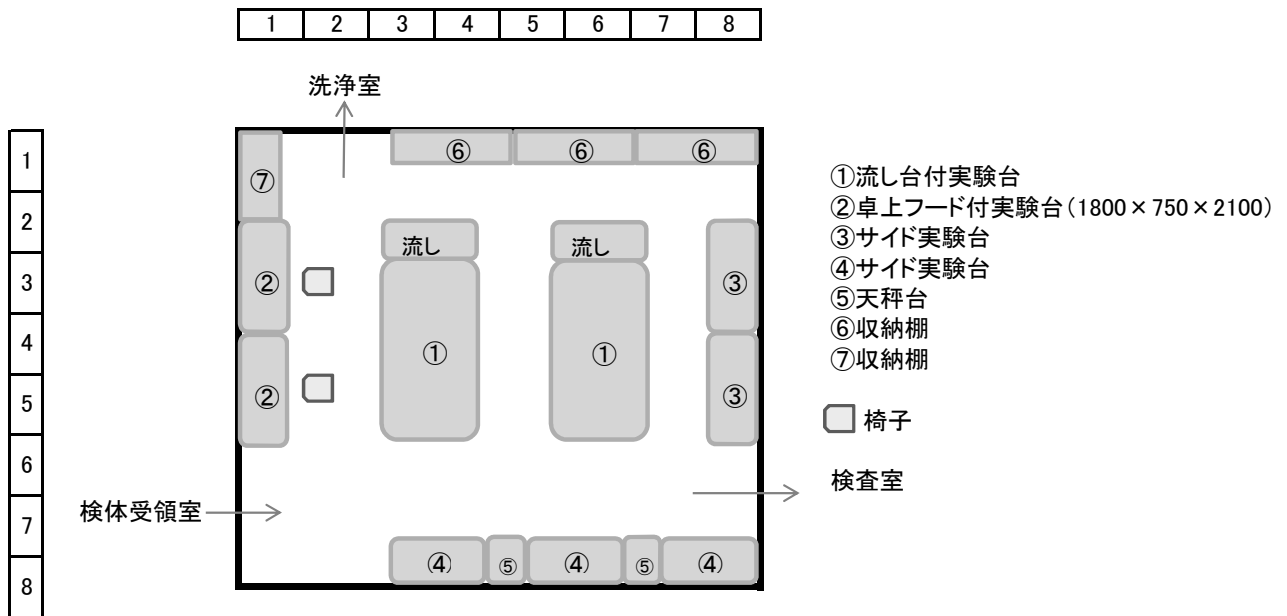




出入口は手動スライドドア。
ただし、出入口が共用廊下に面している場合には、
カードキーによる施錠等のセキュリティ管理が可能であること

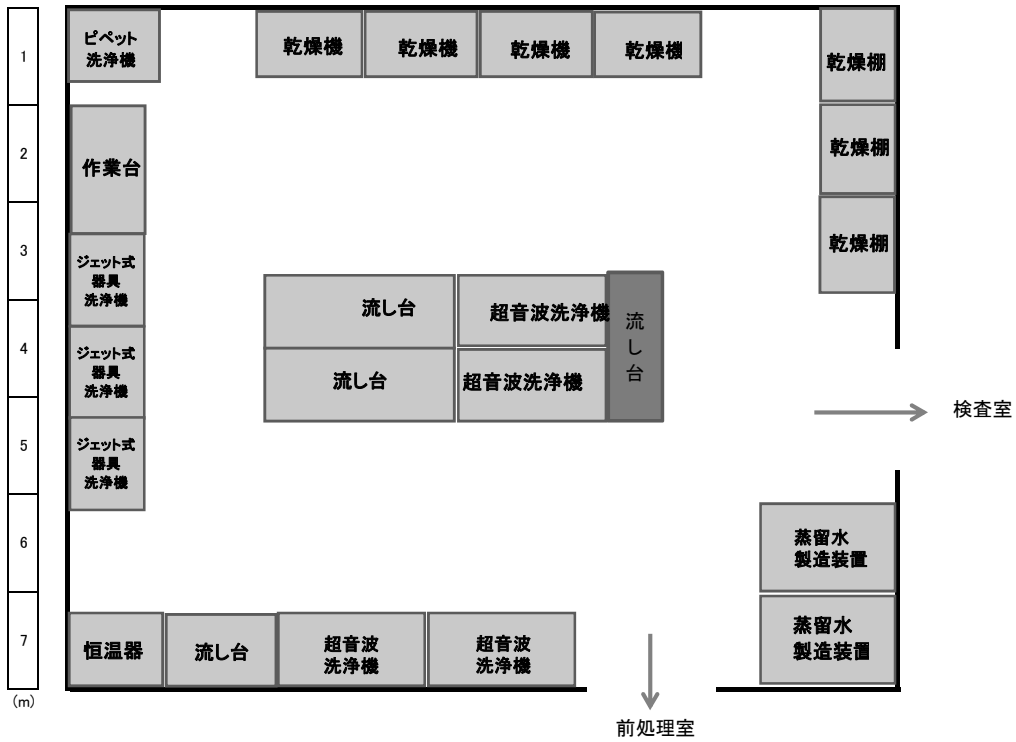
廊下
検査に使用する物品を保管する場所で、試薬以外の物品を保管する。使用状況：毎日

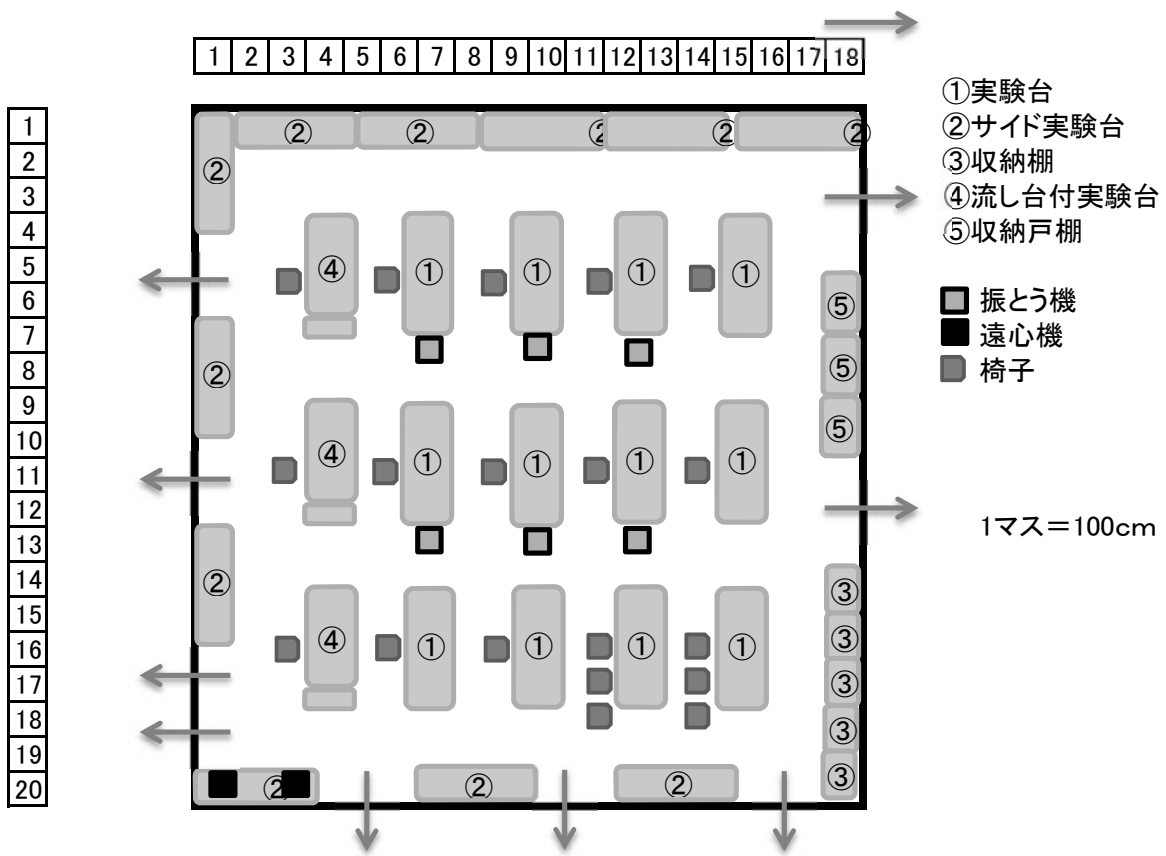


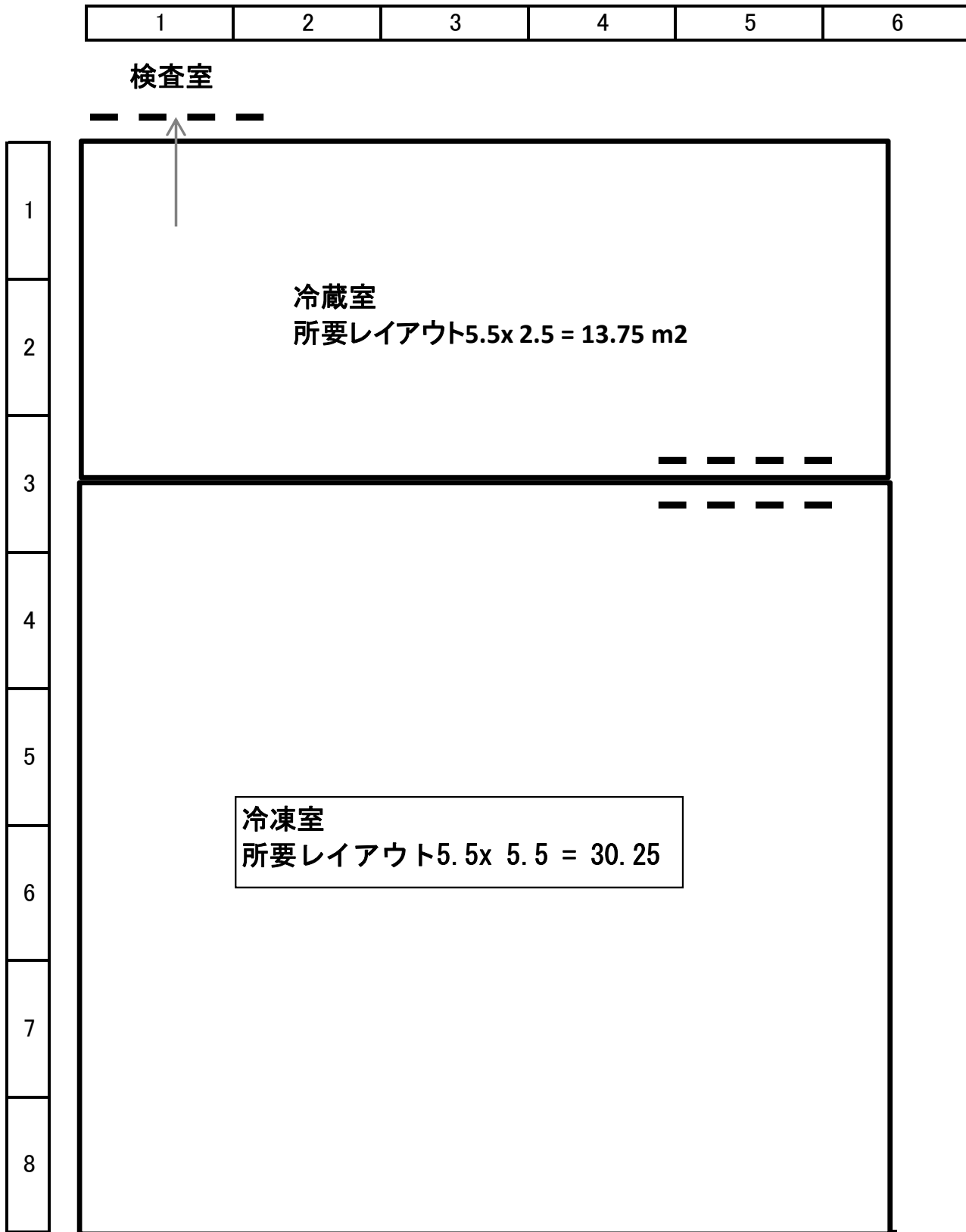


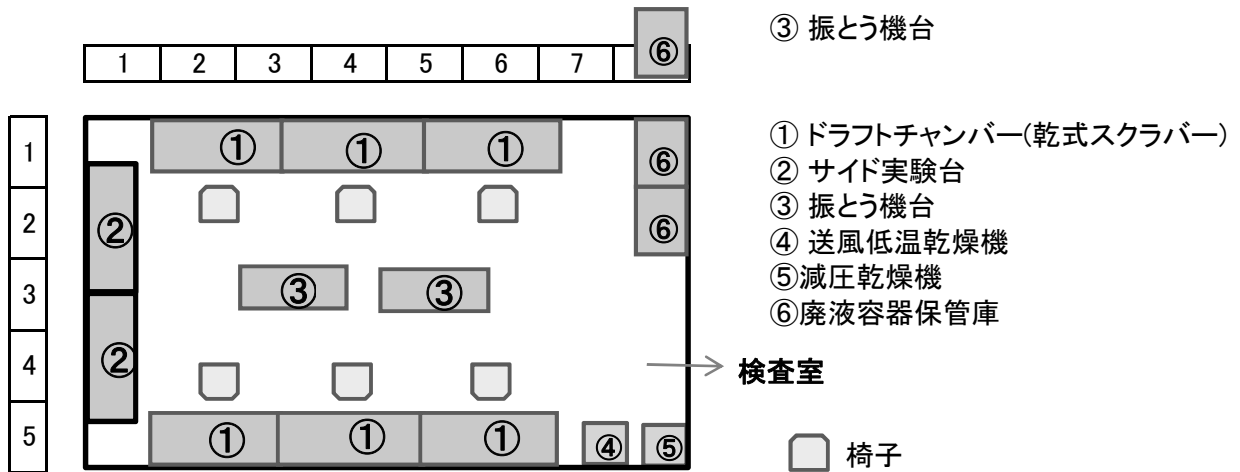
1	2	3	4	5	6	7	8	9	(m)
---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----

所要レイアウト 7 x 8 = 56 m²









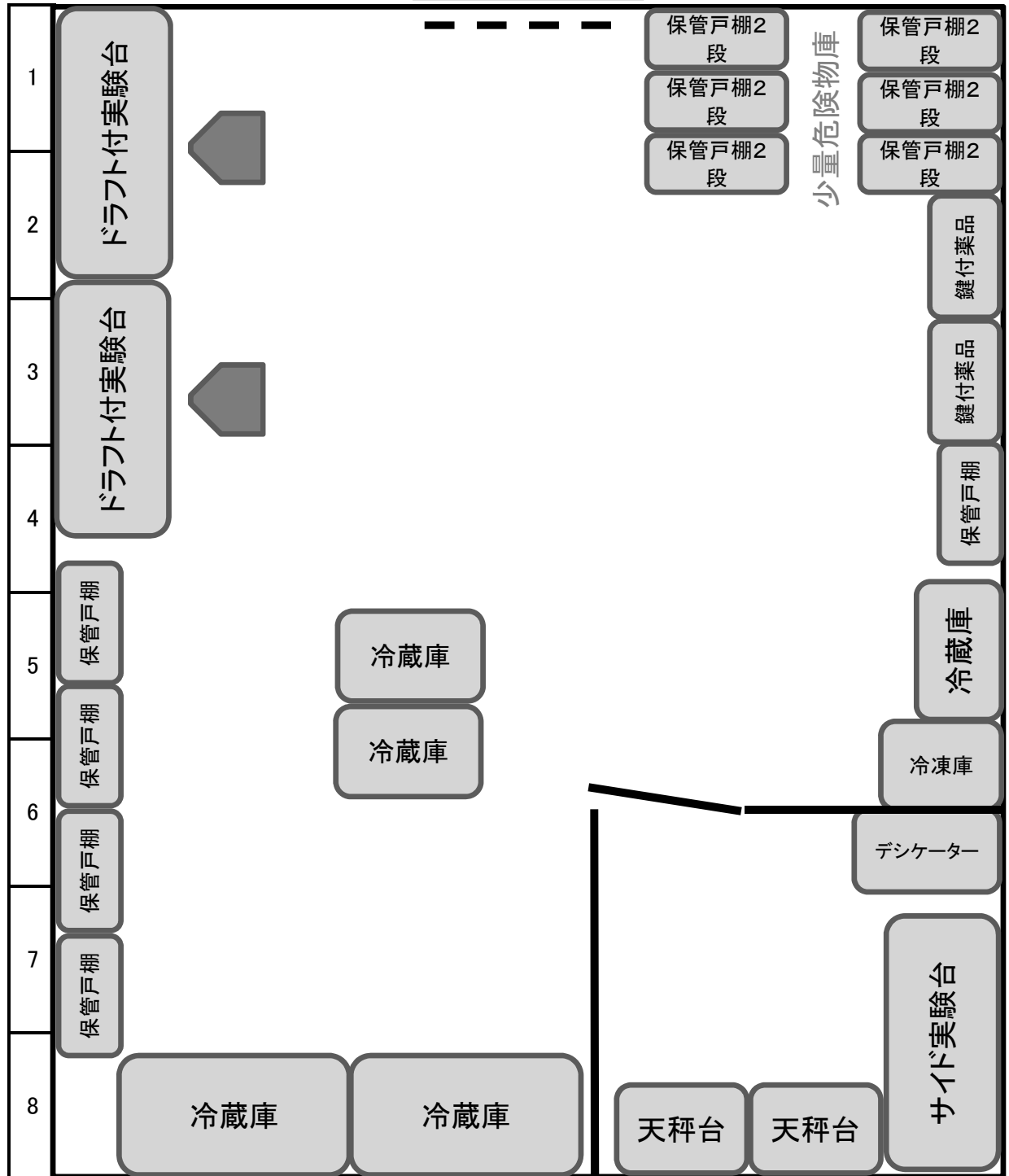
所要レイアウト 8 x 6 = 48 m²

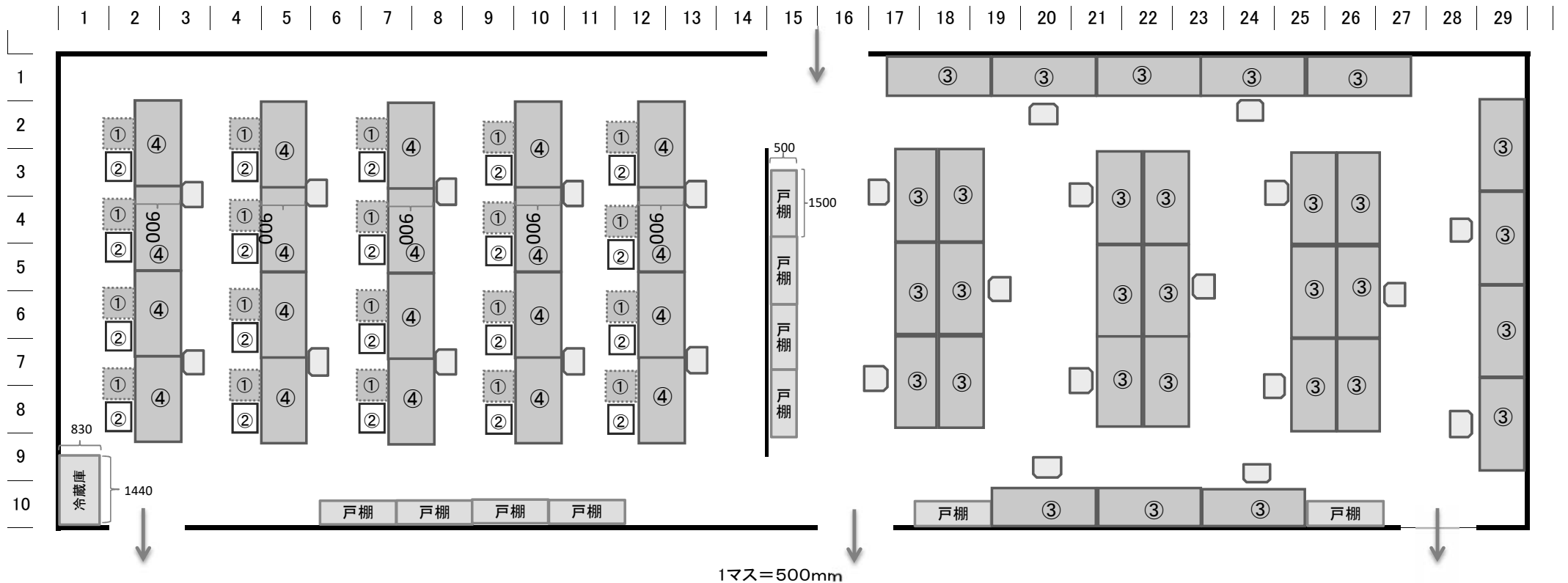
1	2	3	4	5	6
---	---	---	---	---	---

(m)

検査室へ

出入口(鍵付)





①ポンプ台 35×50cm

②窒素ジェネレーター 25×34cm

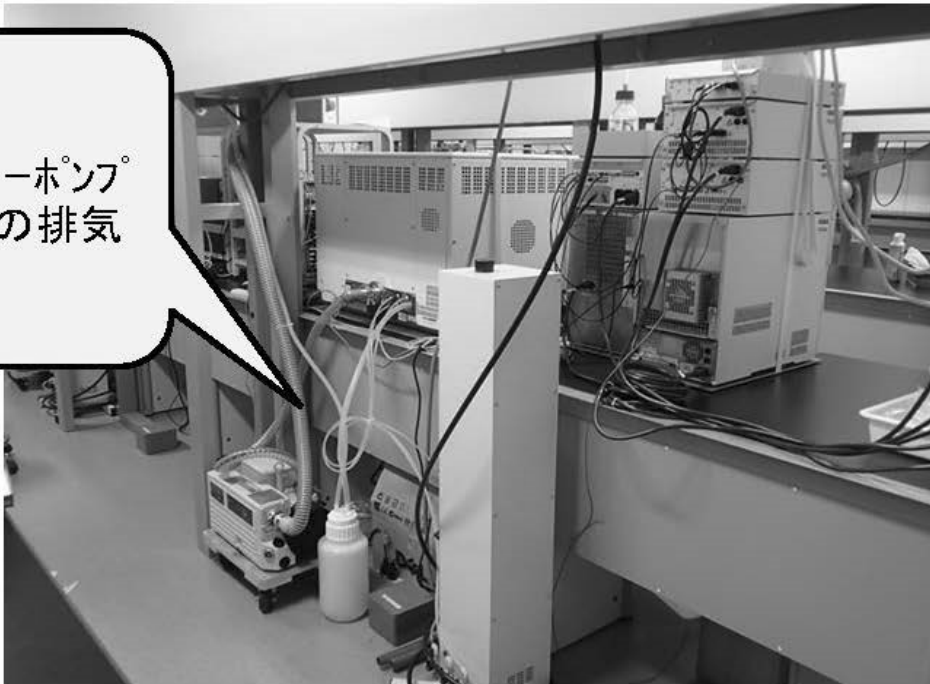
ロータリーポンプから排気される ガスを処理する換気システム

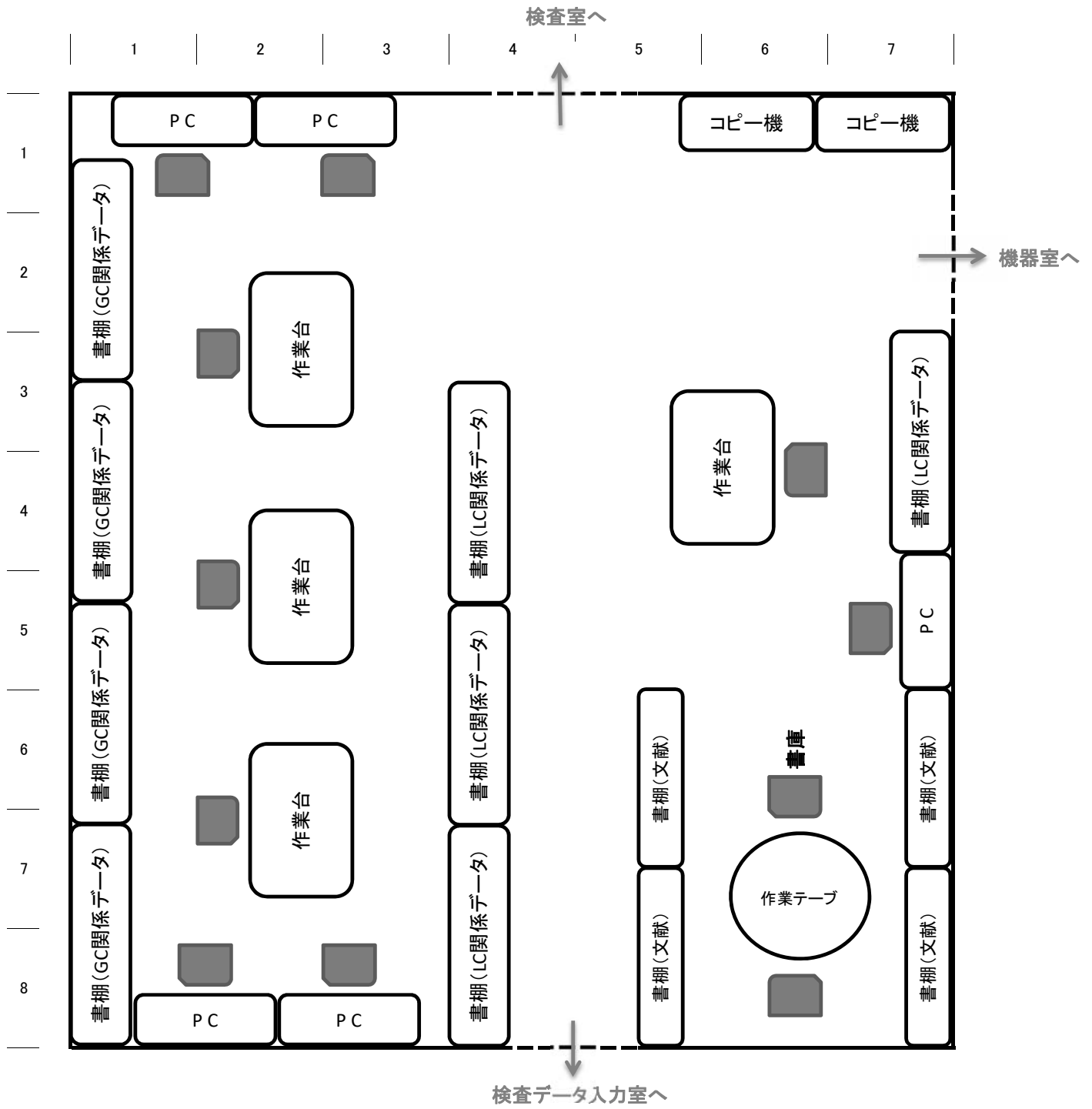
別添①

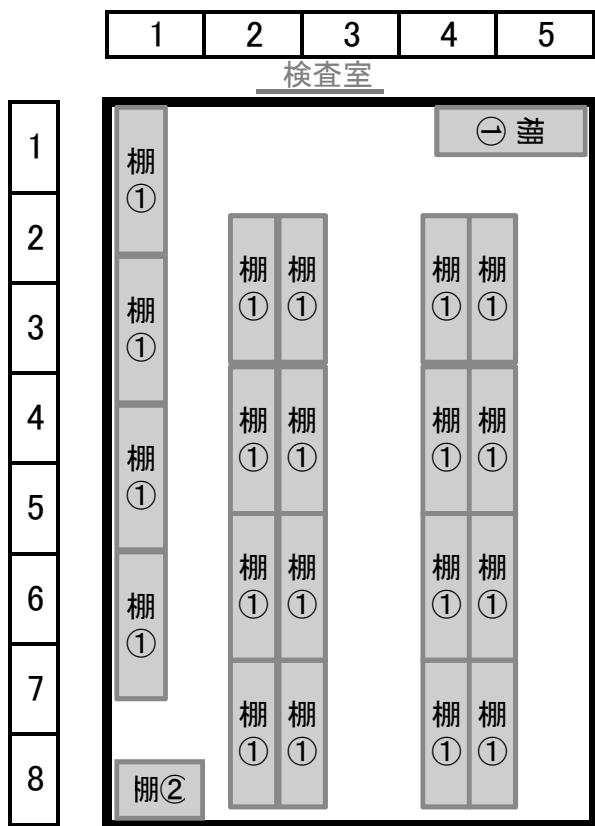
排気ガスを
換気するダクトへ



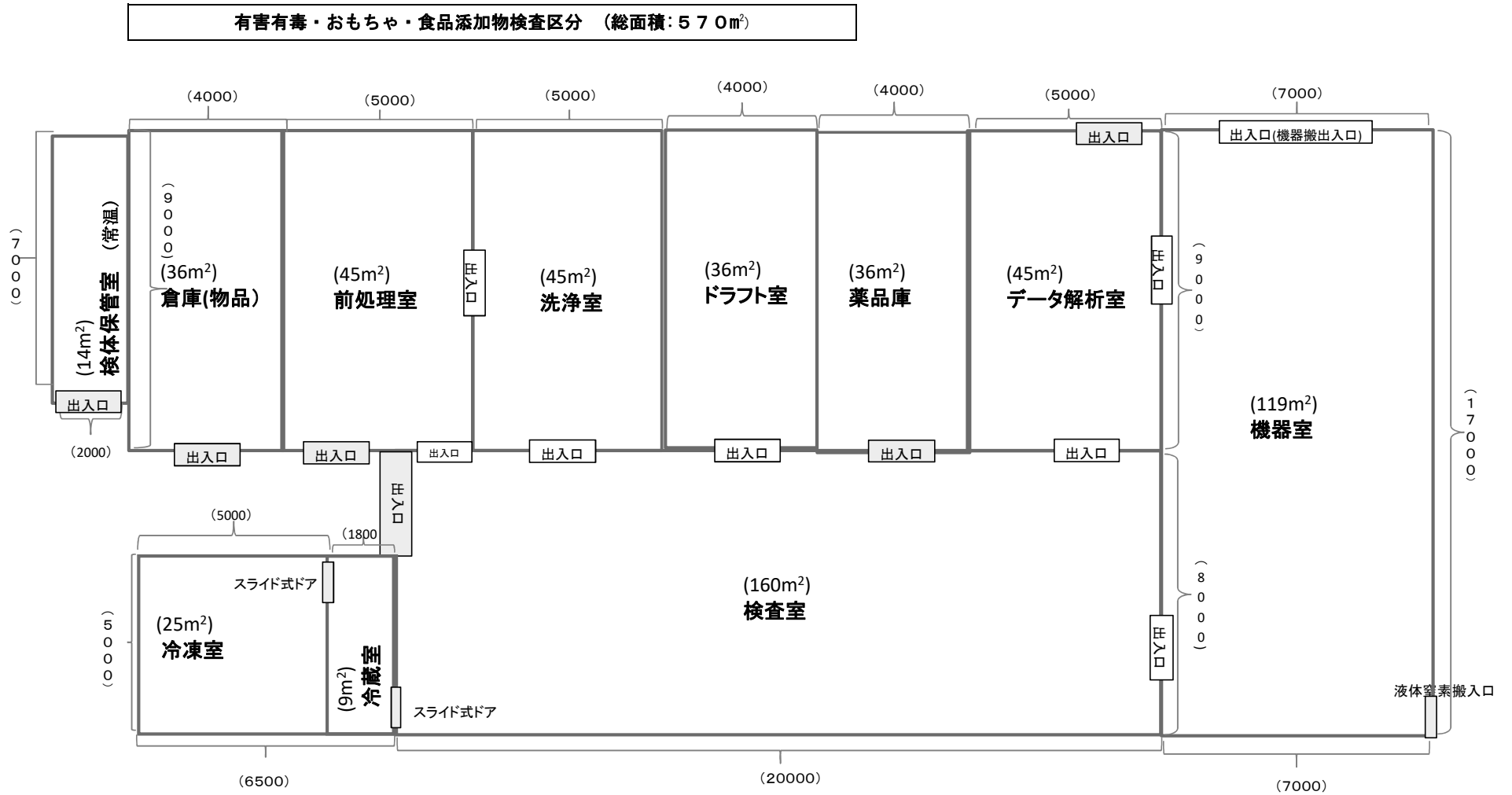
ロータリーポンプ
からの排気

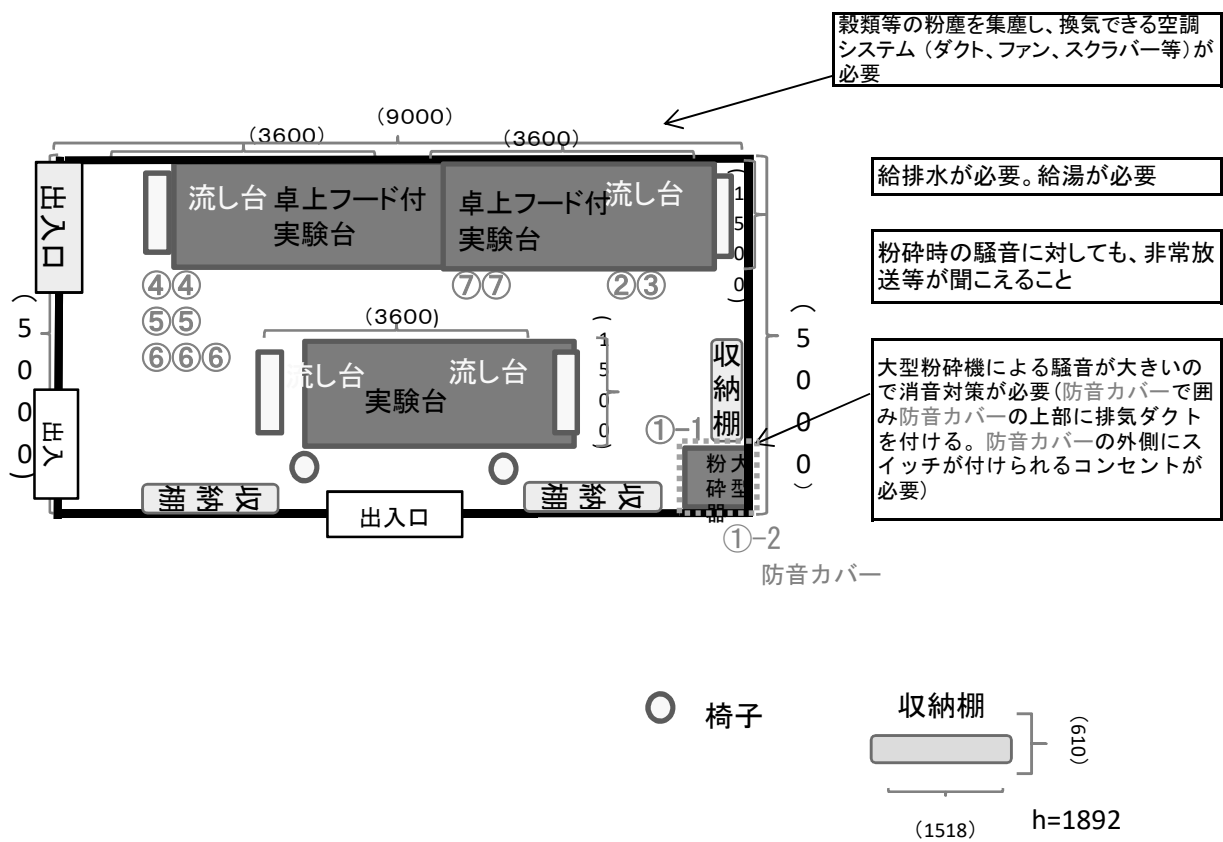






- ① 棚① 50 × 180cm
- ② 棚② 60 × 94cm



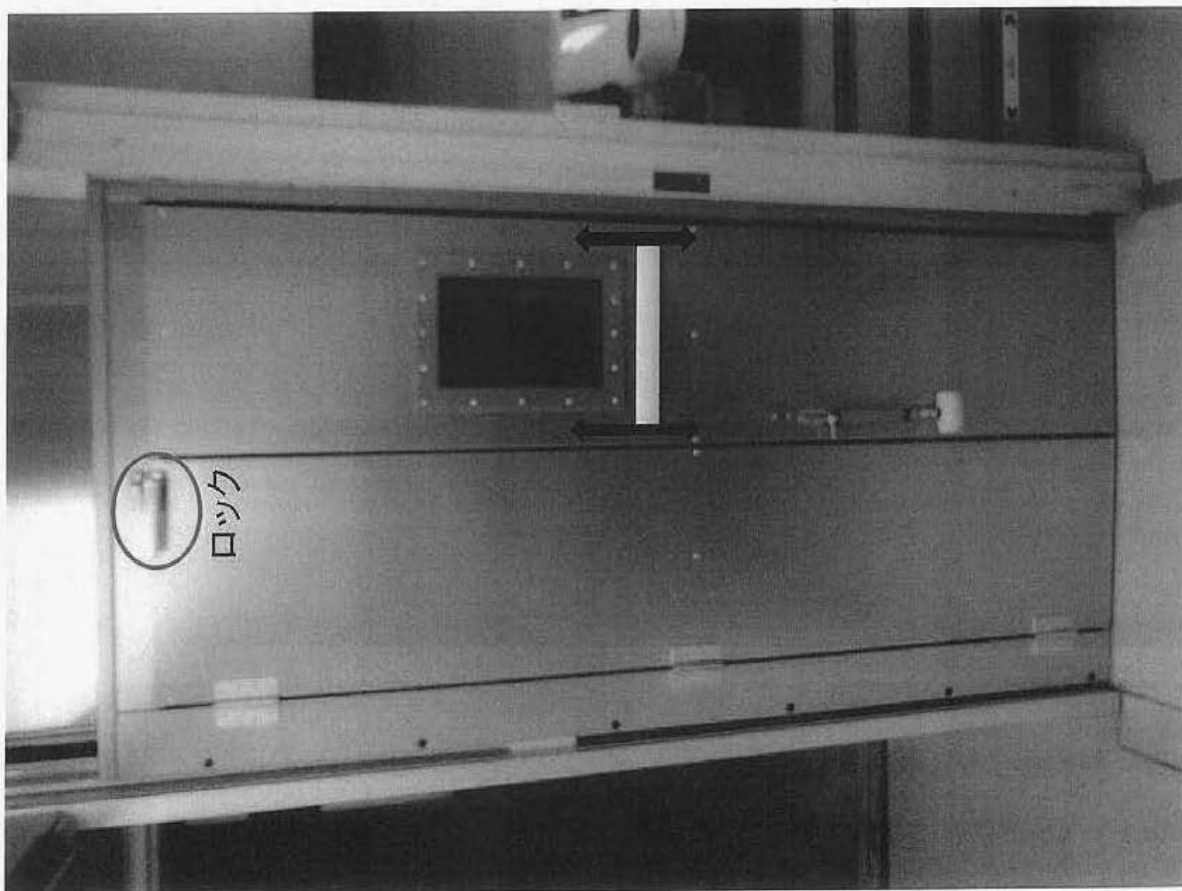


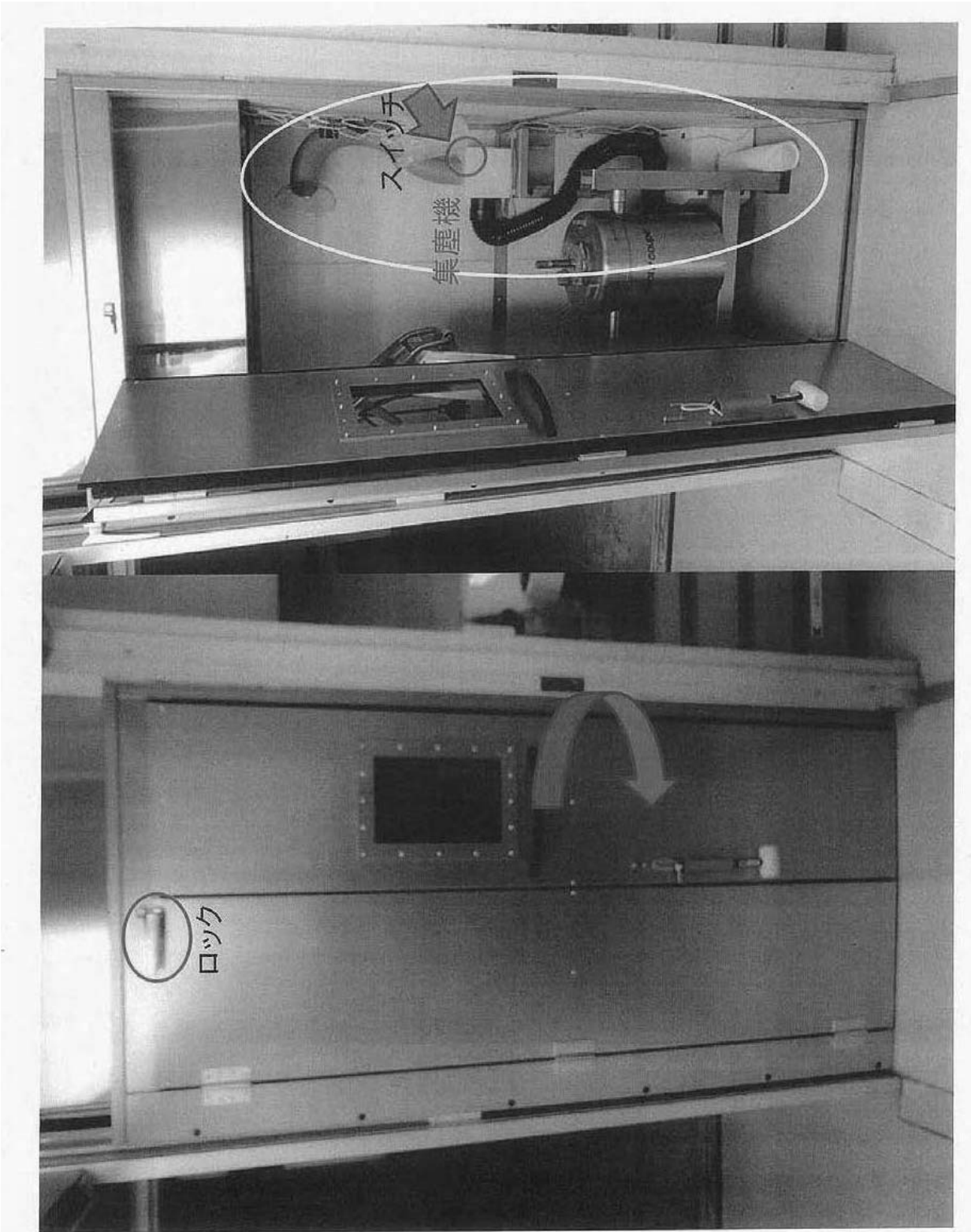
扉閉留留意点



-開閉の際に開けて開けるときは中央の取っ手を手前に引いてください。
その後右側の取っ手を使って大きく開けてください。
-閉じる場合は右側の取っ手で右に引いてある程度のところまで中央
の取っ手で奥に押してください。* 不十分の場合は上部のロックを
使って固定してください。

1、換気扇のON/OFFによる扉開閉の影響
換気扇が稼働している時は本フードにより気密性が良いため、開
けるとときに負荷があります。この負荷を無くすためには外部に設置
予定の換気扇のスイッチをOFFにしてください。





防音カバー 基本仕様書

1. 概要、品名及び数量

カッターミキサー用騒音対策。防音カバー×1台

2. 構成

①形状 外形寸法：W=980×L=800×H=1675
有効寸法：W=924×L=744×H=1650

②主な仕様

A) 外装：ZAM(高耐蝕性鋼板)・フレーム塗装仕上げ

B) 筐体構造

- <壁面> 複層式遮音 METAL パネル(不燃)+吸音板(不燃)
- <天面> 複層式遮音 METAL パネル(不燃)+吸音板(不燃)
- <床面> 建屋床面(コンクリート)仕様

C) その他

① 折れ戸式遮音ドア	1台	W=750×H=1555・AT構造
② 遮音窓	1台	強化硝子

3. 遮音性能

	単位 dB							
Hz	63	125	250	500	1000	2000	4000	8000
遮音量保証値	—	—	12	15	18	20	22	21

4. 外観構想図

別紙添付図(RN-AS-6250-1)の通り

5. 製品保証

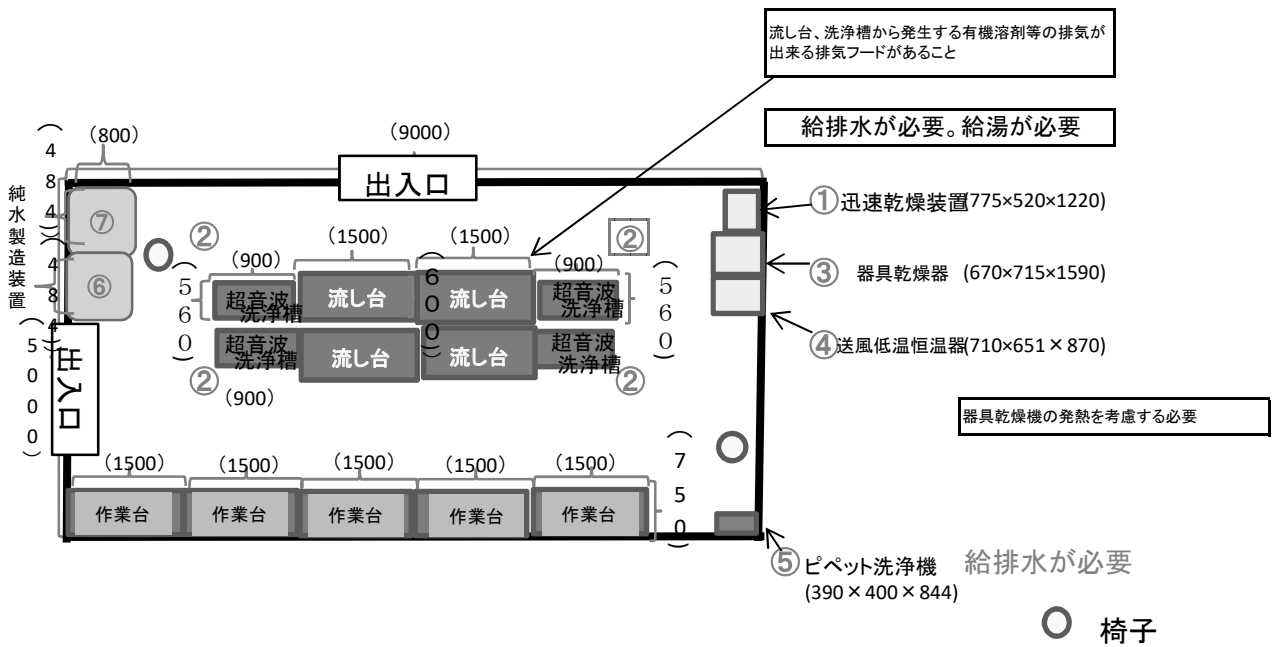
本製品の保証期間は、本製品を貴社へ引き渡し後一カ年間とし、この期間中に設計・製作上の不備に起因する故障が生じた場合は、無償にて部品交換・修理を行うものとする。尚、保証期間満了後も、本製品の精度維持の為に別途ご契約頂く事により、保証期間の延長も可能。

6. 情報の取り扱い

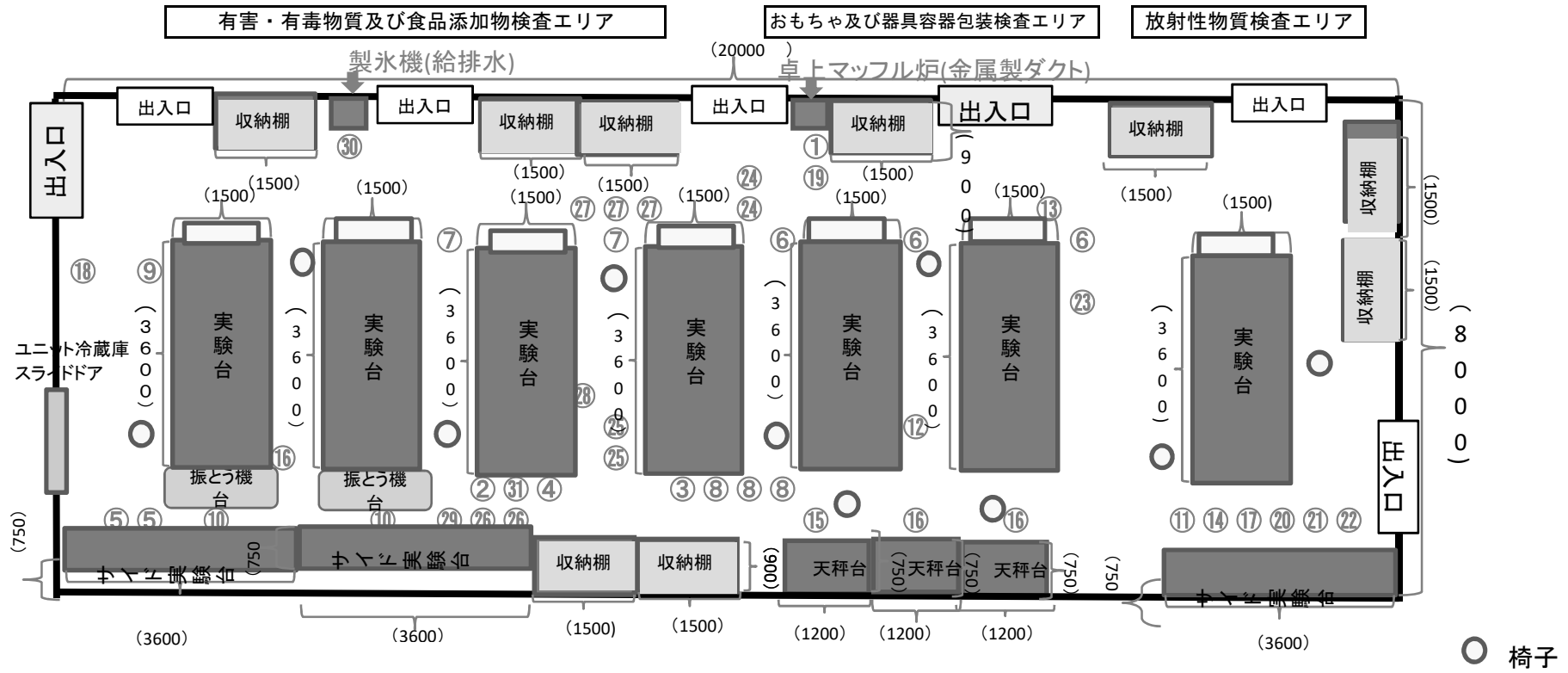
横浜検疫所様及び当社の機密事項に関わる情報については、第三者への提供及び公表は一切行わないこととする。また、必要により両社間で情報提供を行う際は、相互の規定に基づき、機密保持契約を締結することとする。

7. その他

本仕様書に記載されていない事項、詳細についての不明な点、又は仕様に疑義のある場合は、打ち合わせ



LAN接続が可能



有機溶媒を使用するため、卓上ドラフト(実験台と天井から換気)を設け、サイド実験台も同様に換気出来ること

室内が陰圧になり過ぎないよう、差圧計に連動した空調機が必要

実験台流し台
実験台に付帯する流し台は、給排水が必要。給湯有り

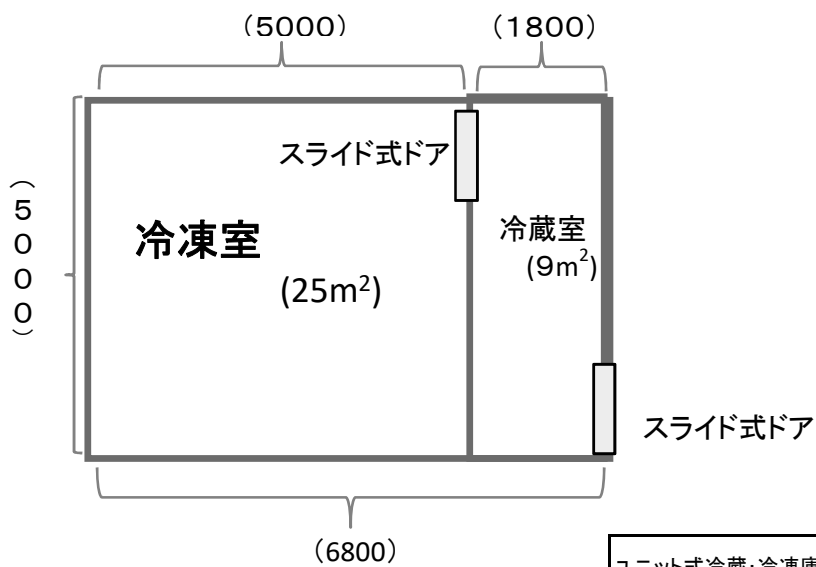


有害有毒等検査室

卓上マッフル炉

(デンケンKDS-S90)については、高温の熱が発生するので、マッフル炉に合わせた大きさのフードを持つ換気設備(金属製ダクト)が必要

現在の設置状況及び寸法



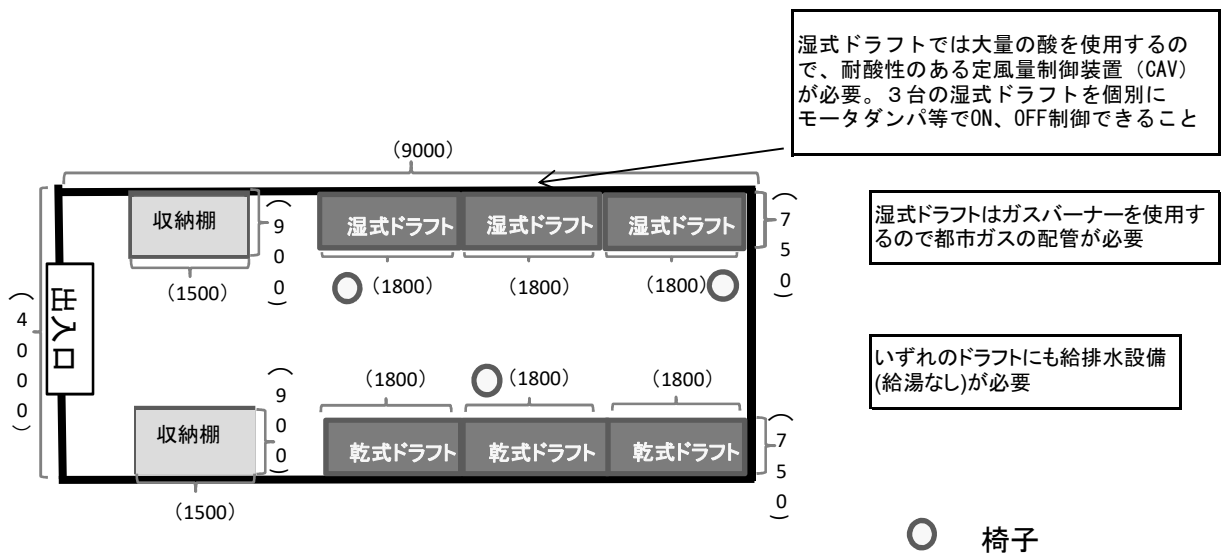
ユニット式冷蔵・冷凍庫(結露防止の観点から奥に冷凍庫、手前に冷蔵庫の配置で出入り口は1ヶ所となる(検査室に面していること。出入り口はユニット式冷蔵庫のスライドドア(手動)を利用する。)

ユニット式冷蔵・冷凍庫の設置においては、床面に断熱材を入れ結露が生じないようにすること。

ドレイン配管必要

冷風機室外機の発熱を考慮する必要がある

台車によるドア付近の破損が生じない材質であること



湿式ドラフトでは大量の酸を使用するので、耐酸性のある定風量制御装置（CAV）が必要。3台の湿式ドラフトを個別にモーターダンパ等でON、OFF制御できること

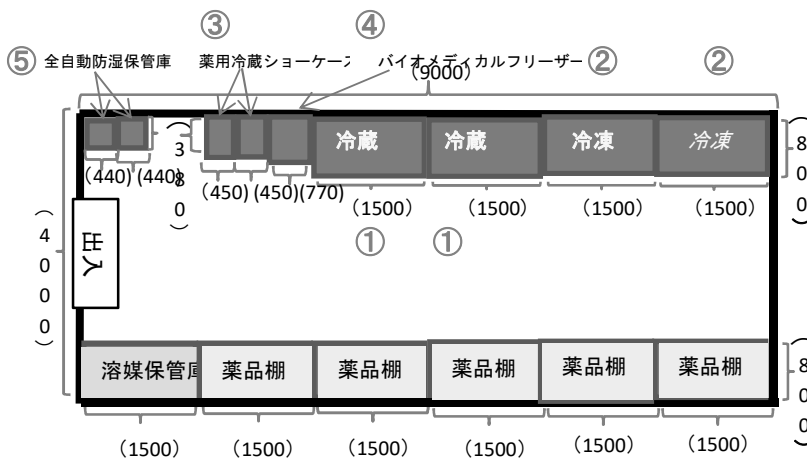
湿式ドラフトはガスバーナーを使用するので都市ガスの配管が必要

いずれのドラフトにも給排水設備（給湯なし）が必要

○ 椅子

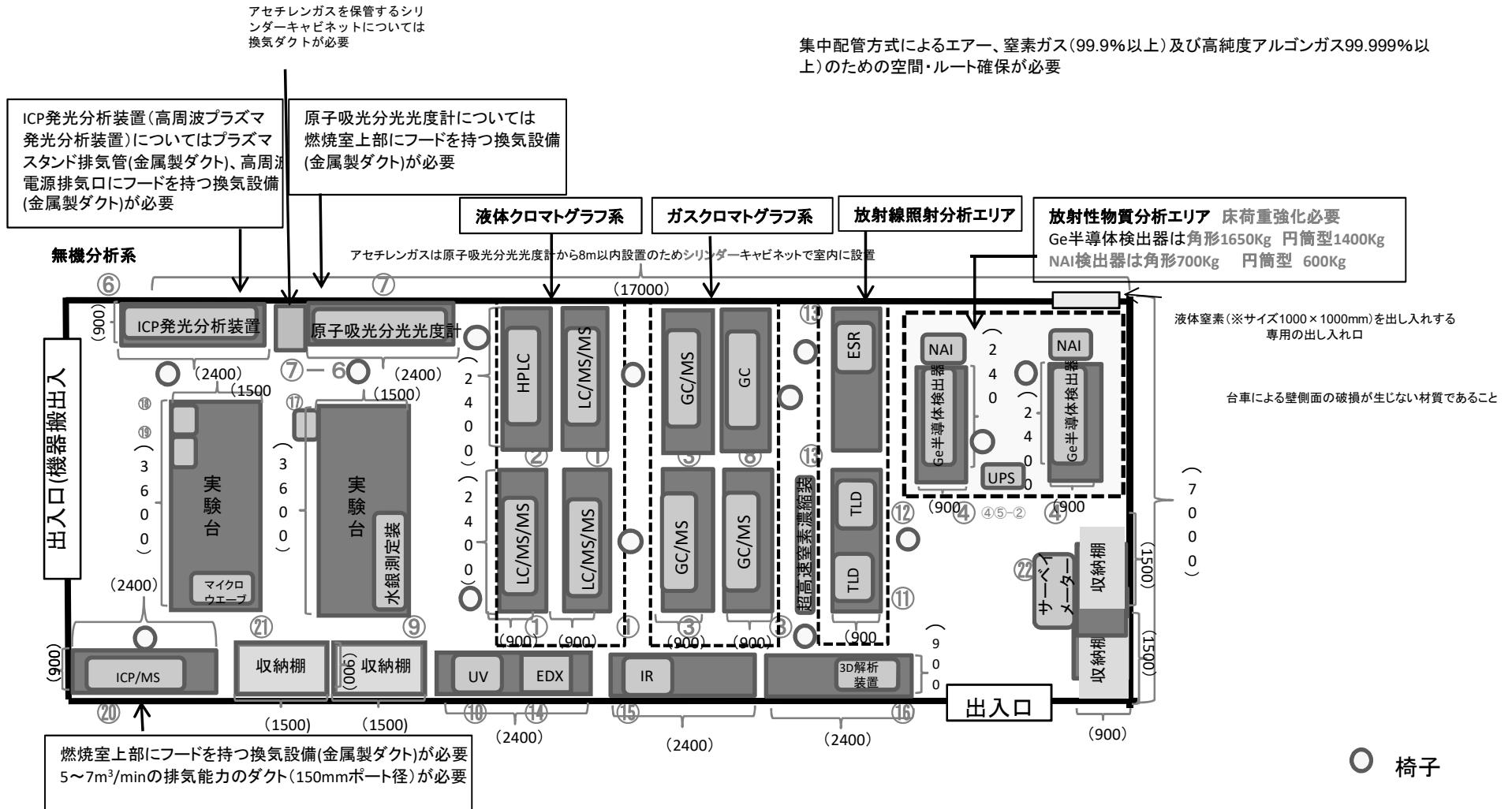
集中配管方式による窒素ガス(99.9%以上)のための空間・ルート確保が必要

室内が陰圧になり過ぎないように、差圧計に連動した空調機が必要

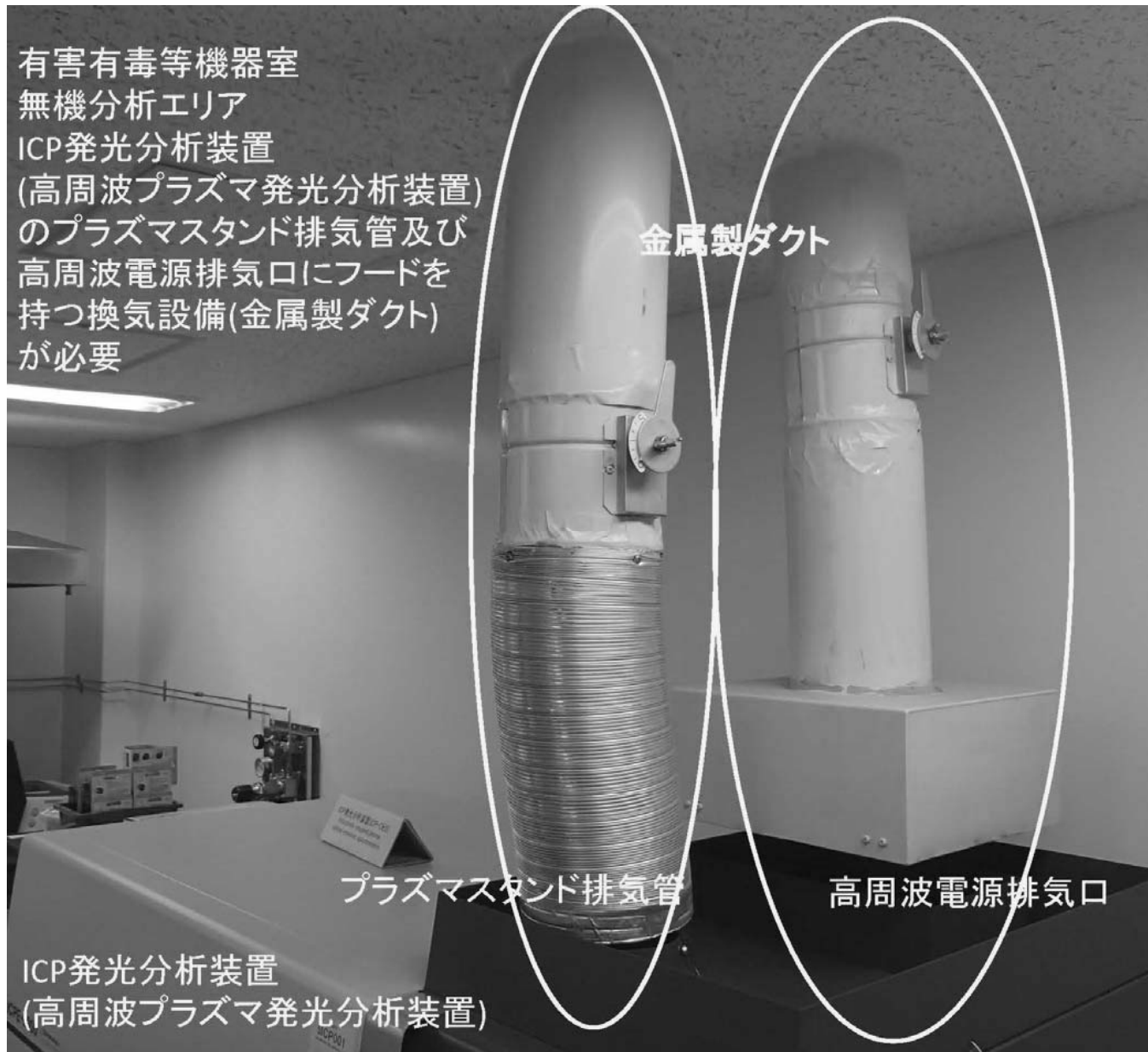


LAN接続が可能

冷蔵庫・冷凍庫の排熱処理換気
及びドレイン水用排水が必要







有害有毒等機器室
無機分析エリア
ICP発光分析装置
(高周波プラズマ発光分析装置)
のプラズマスタンド排気管及び
高周波電源排気口にフードを
持つ換気設備(金属製ダクト)
が必要

金属製ダクト

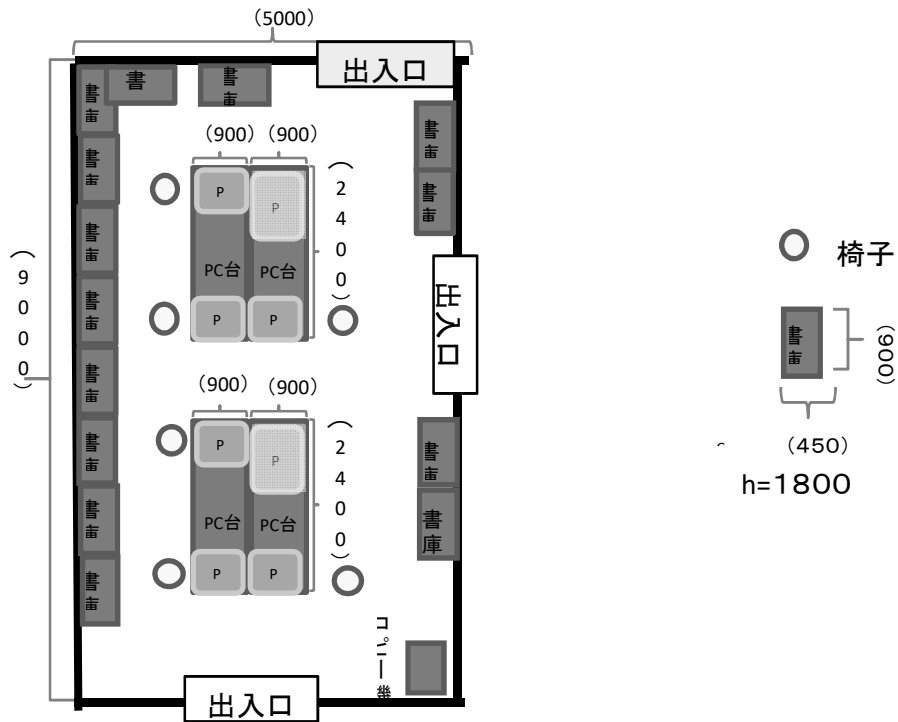
現在の設置状況

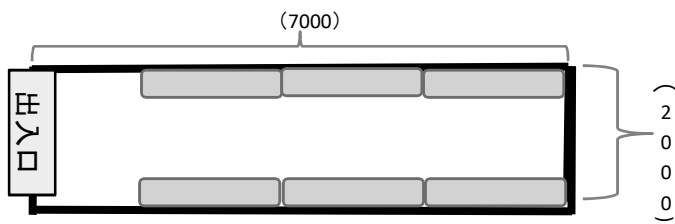
プラズマスタンド排気管

高周波電源排気口

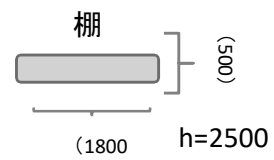
ICP発光分析装置
(高周波プラズマ発光分析装置)

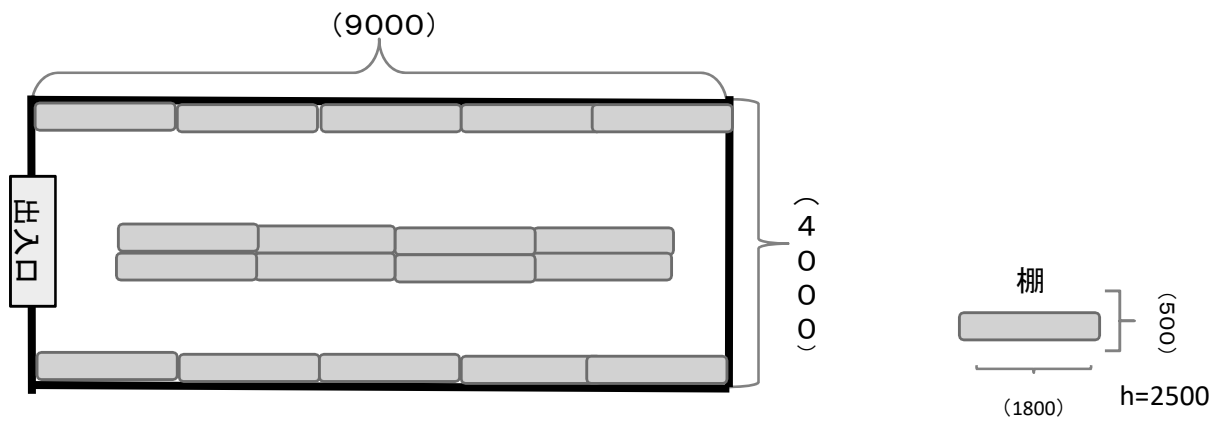






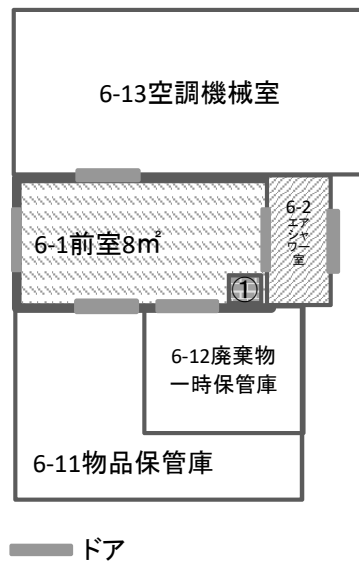
台車による壁側面の破損が生じない材質であること





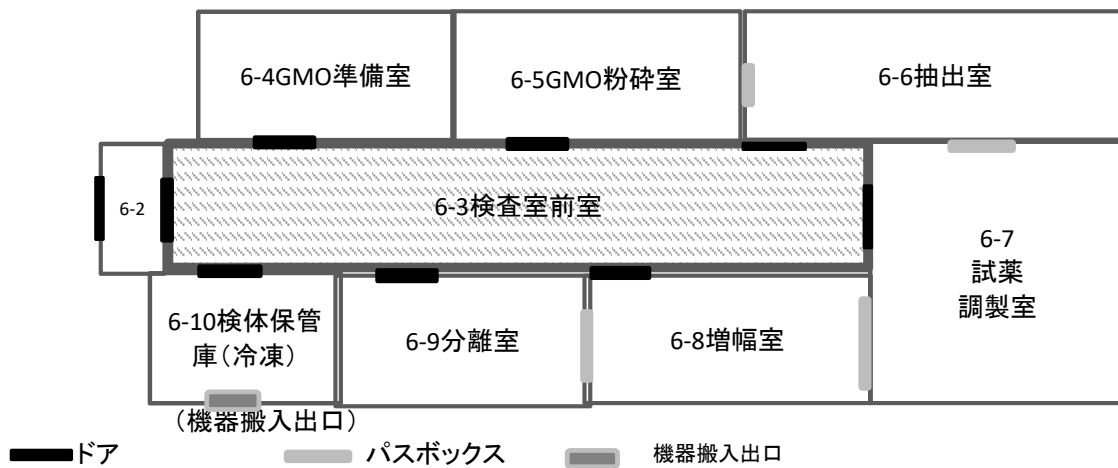
台車による壁側面の破損が生じない材質であること

①シューズロッカー(殺菌線消毒ロッカー)

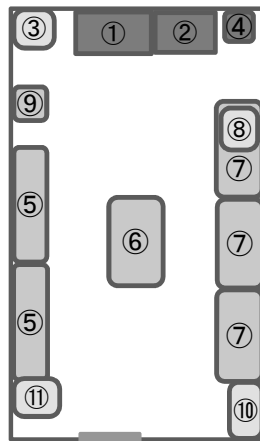


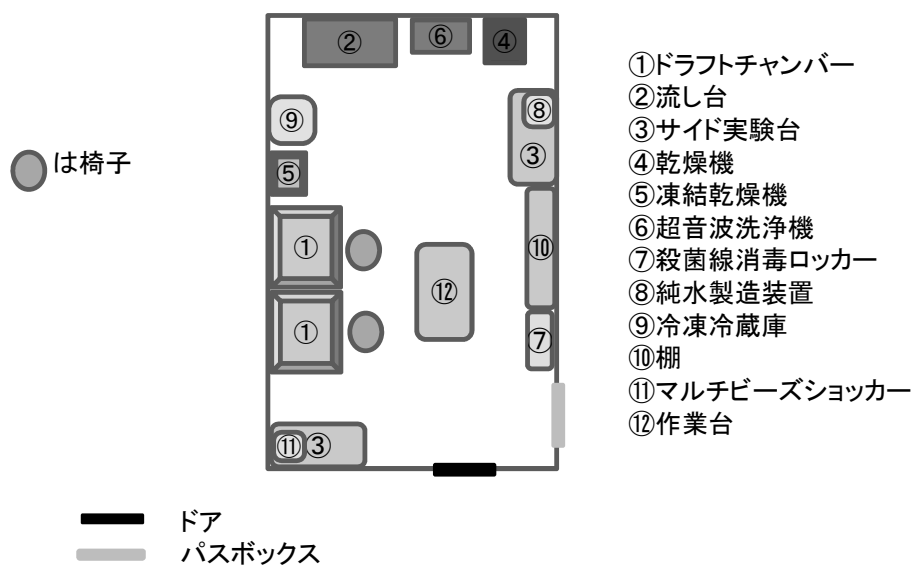


— ドア

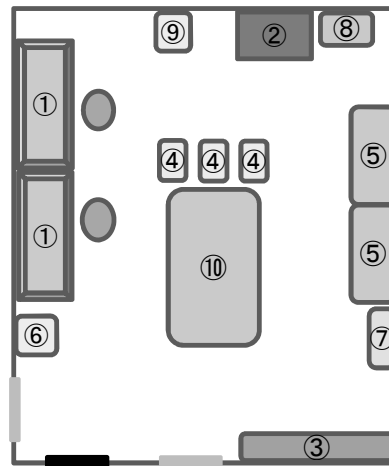


- ①流し台
 - ②超音波洗浄機
 - ③オートクレーブ
 - ④製氷機
 - ⑤棚
 - ⑥作業台
 - ⑦サイド実験台
 - ⑧超純水製造装置
 - ⑨乾燥機
 - ⑩殺菌線消毒ロッカー
 - ⑪冷凍冷蔵庫
- ドア

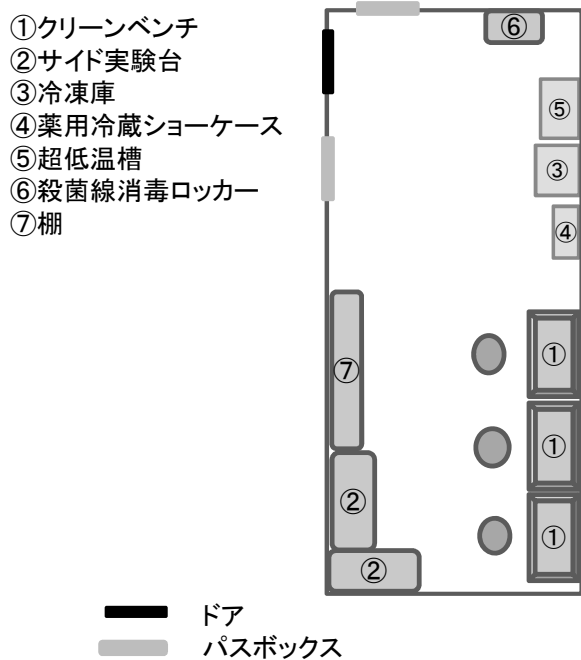




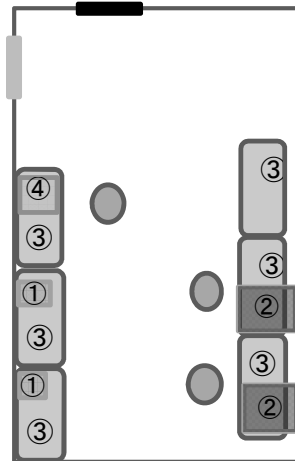
- ①安全キャビネット
- ②流し台
- ③棚
- ④遠心機
- ⑤サイド実験台
- ⑥冷凍冷蔵庫
- ⑦殺菌線消毒ロッカー
- ⑧乾燥架台
- ⑨インキュベーター
- ⑩作業台



- ドア
- パスボックス

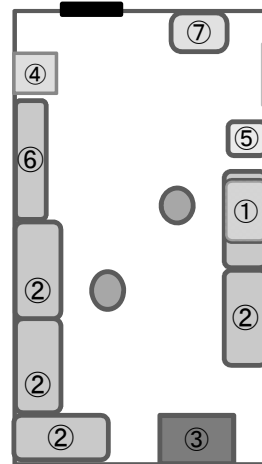


- ①サーマルサイクラー
- ②リアルタイムPCR装置一式
- ③サイド実験台
- ④データ処理用パソコン一式

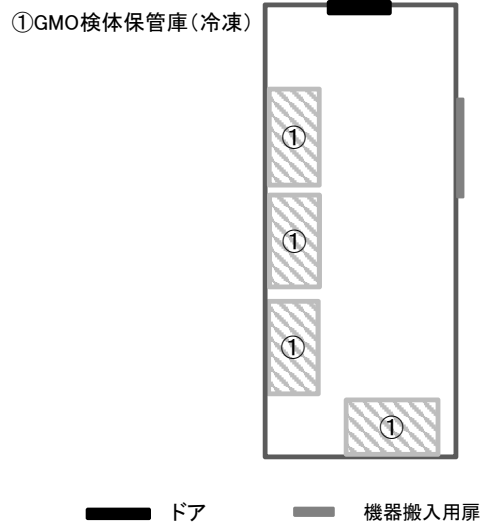


— ドア
— パスボックス

- ①シーケンサー一式
- ②サイド実験台
- ③流し台
- ④冷凍冷蔵庫
- ⑤冷却遠心機
- ⑥棚
- ⑦殺菌線消毒ロッカー

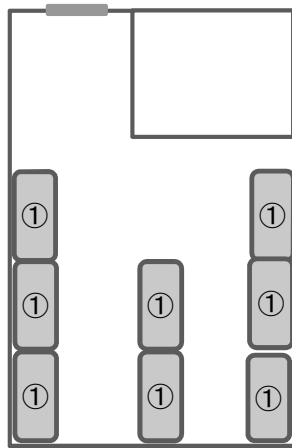


- ドア
- パスボックス



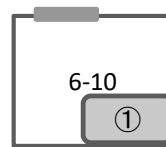
①スチール棚

— ドア



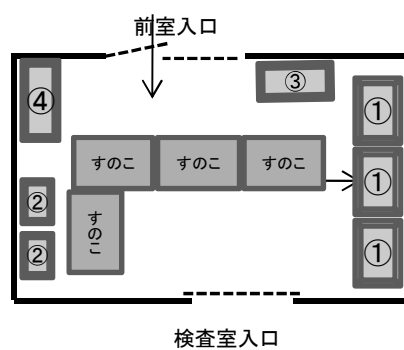
①スチール棚

— ドア



産業廃棄物の一時保管

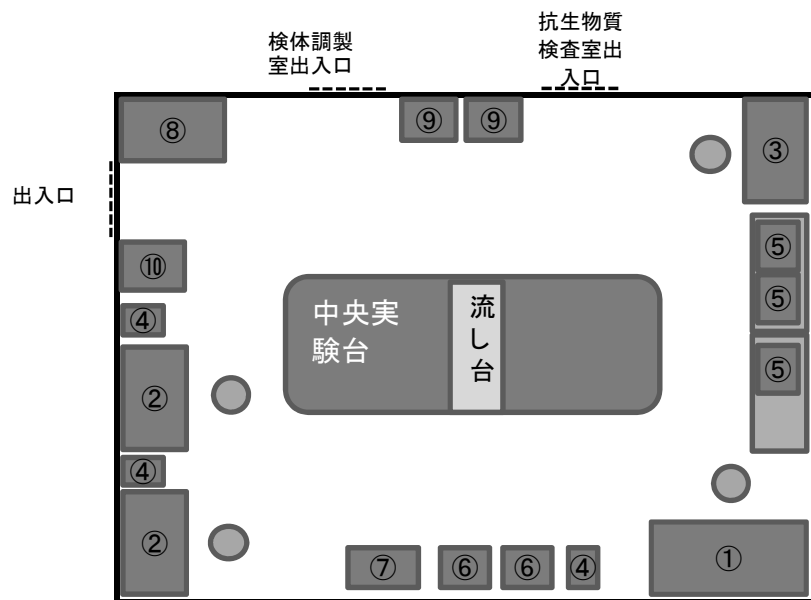
- ①UVロッカー
- ②UV下駄箱
- ③ロッカー
- ④下駄箱



- ①安全キャビネット
- ②安全キャビネット
- ③クリーンベンチ
- ④遠心機
- ⑤孵卵器
- ⑥孵卵器
- ⑦孵卵器
- ⑧冷蔵庫
- ⑨冷凍・冷蔵庫
- ⑩超低温冷凍庫
- 中央実験台(流し台付)

実験台
流し台

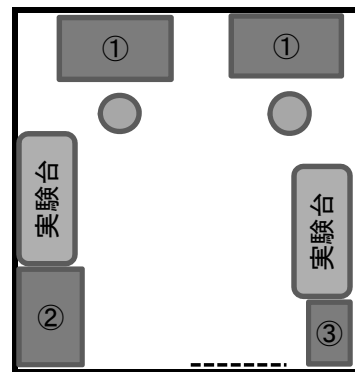
● は椅子



- ①クリーンベンチ
- ②冷蔵庫
- ③冷凍・冷蔵庫

実験台

● は椅子

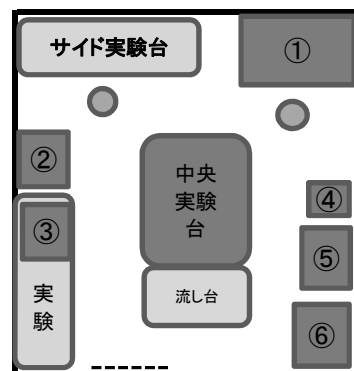


出入口

- ①ドラフト
- ②孵卵器
- ③孵卵器
- ④遠心機
- ⑤冷凍冷蔵庫
- ⑥冷蔵庫

中央実験台
サイド実験台

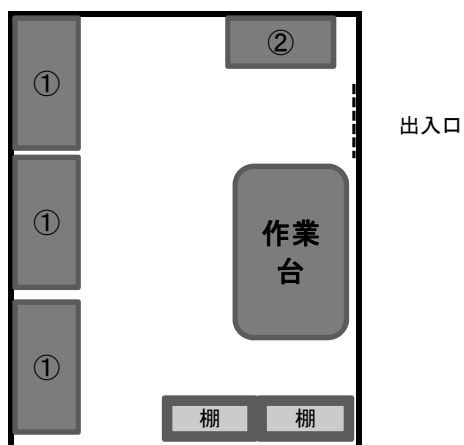
● は椅子



出入口

- ①冷凍庫
- ②冷蔵庫

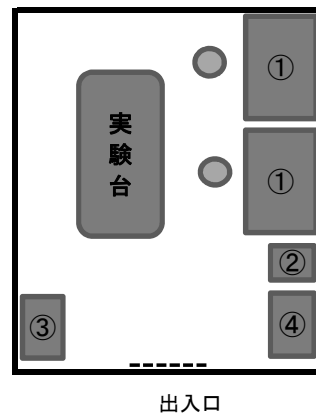
棚
作業台



- ①安全キャビネット
- ②遠心機
- ③冷凍冷蔵庫
- ④冷蔵庫

実験台

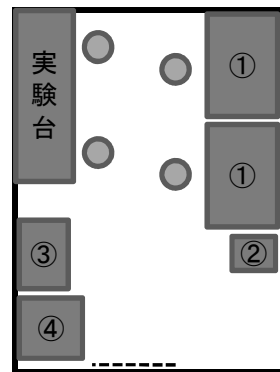
● は椅子



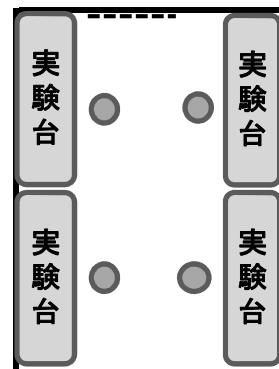
- ①バイオガードクリーンベンチ
- ②遠心機
- ③冷蔵庫
- ④冷凍庫

実験台

● は椅子



● は椅子



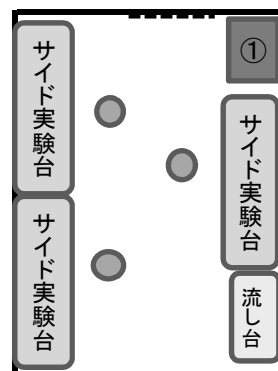
出入口

①冷凍・冷蔵庫

サイド実験台
流し台

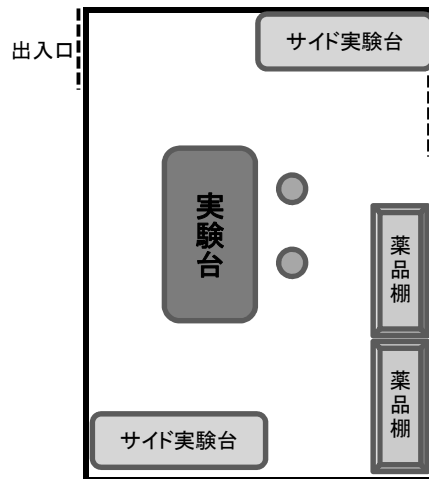
● は椅子

出入口



実験台
サイド実験台
薬品棚

● は椅子



滅菌室

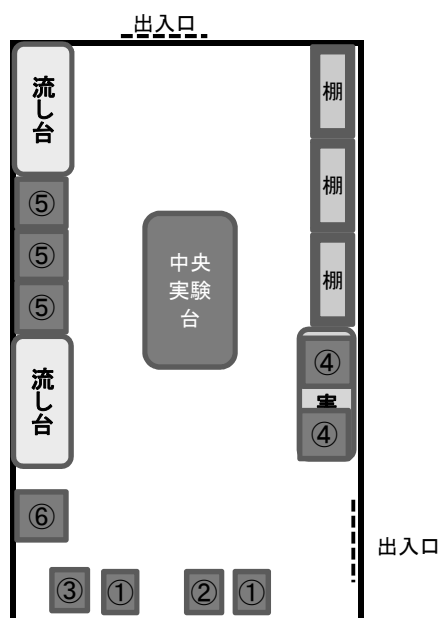
- ①オートクレーブ
- ②オートクレーブ
- ③オートクレーブ
- ④乾熱滅菌器
- ⑤超音波洗浄機
- ⑥器具洗浄機

流し台

棚

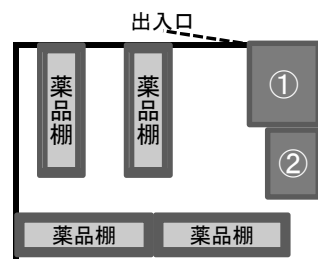
サイド実験台

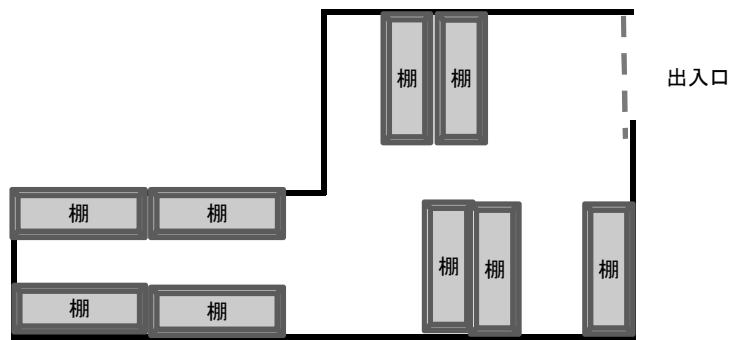
中央実験台



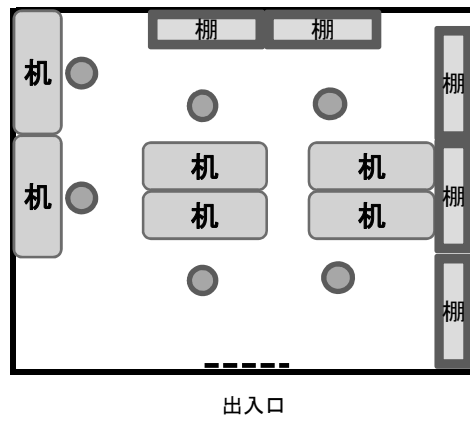
- ①冷蔵庫
- ②冷凍庫

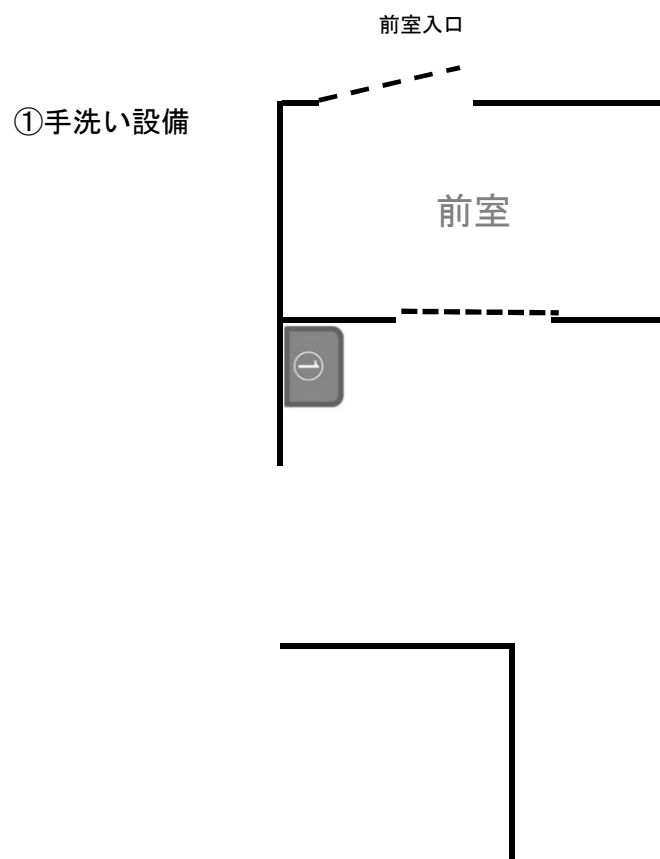
薬品棚



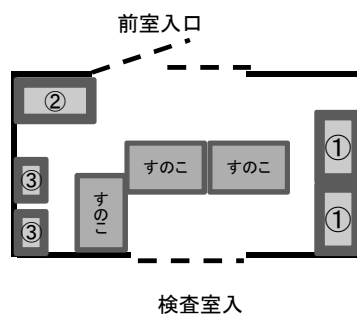


● は椅子





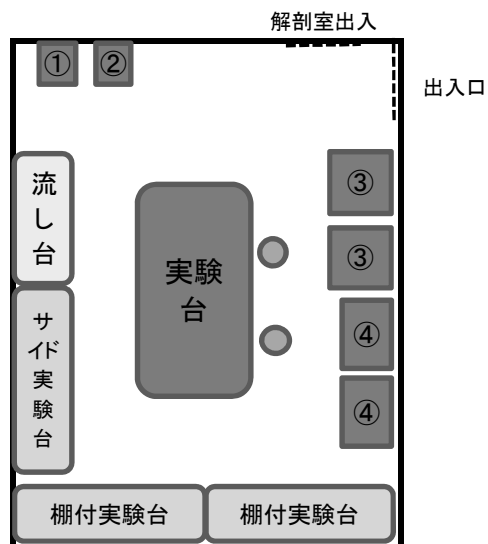
- ①UVロッカー
- ②下駄箱
- ③UV下駄箱



- ①オートクレーブ
- ②オートクレーブ
- ③冷凍庫
- ④冷蔵庫

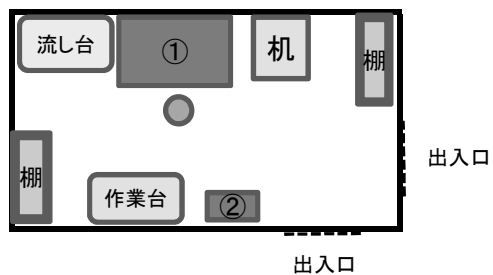
実験台
サイド実験台
棚付実験台
流し台

● は椅子



- ①安全キャビネット
- ②危険物保管庫

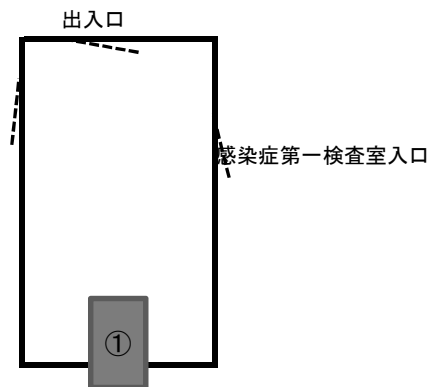
棚
机
作業台



● は椅子

①両面式高圧滅菌器

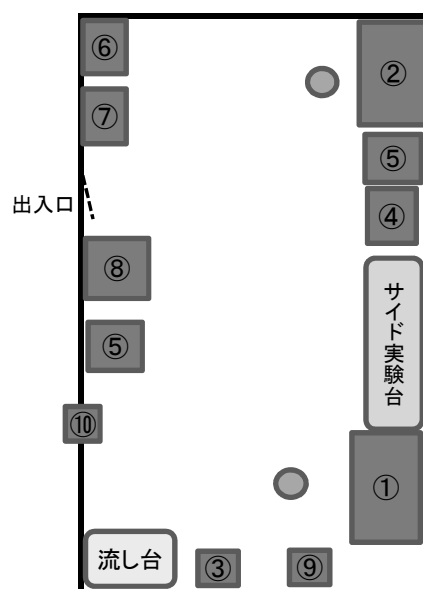
感染症第二検査室エアロック



- ①安全キャビネット
- ②バイオガードクリーンベンチ
- ③オートクレーブ
- ④孵卵器
- ⑤CO2インキュベーター
- ⑥冷凍冷蔵庫
- ⑦冷蔵庫
- ⑧超低温冷蔵庫
- ⑨遠心機
- ⑩パスボックス

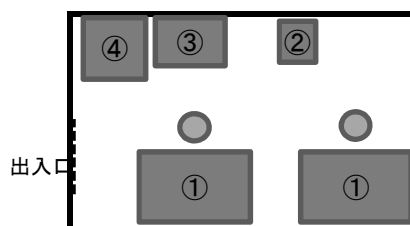
サイド実験台
流し台

● は椅子



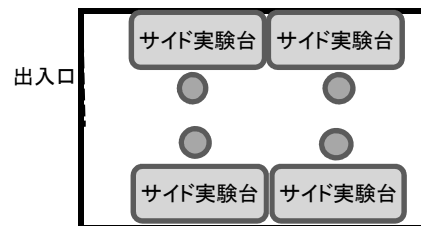
- ① バイオガードクリーンベンチ
- ② 遠心機
- ③ 冷蔵庫
- ④ 冷凍庫

● は椅子



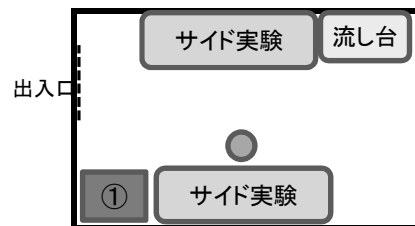
サイド実験台

● は椅子

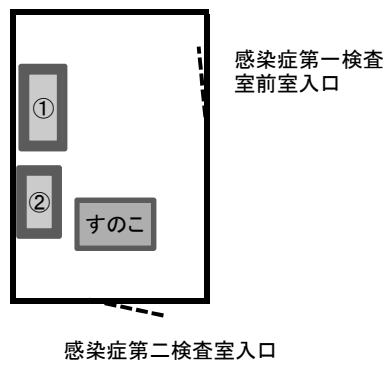


①冷凍・冷蔵庫
サイド実験台
流し台

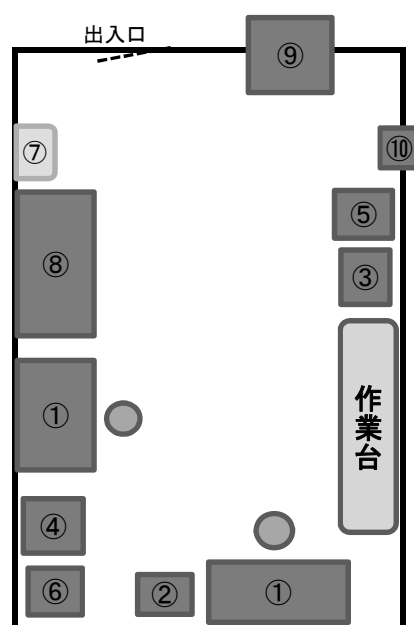
● は椅子

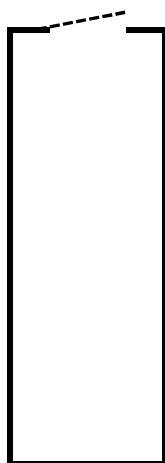


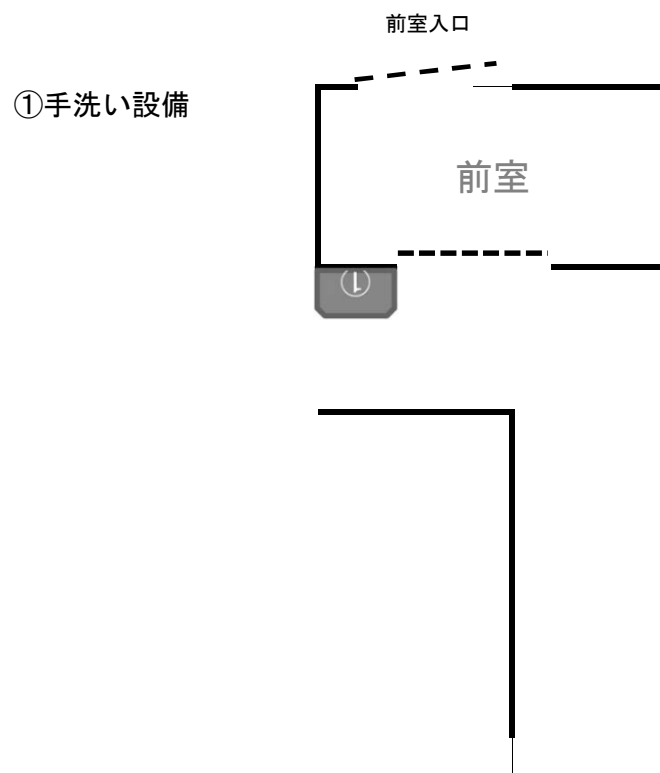
- ①殺菌ロッカー
- ②UV下駄箱



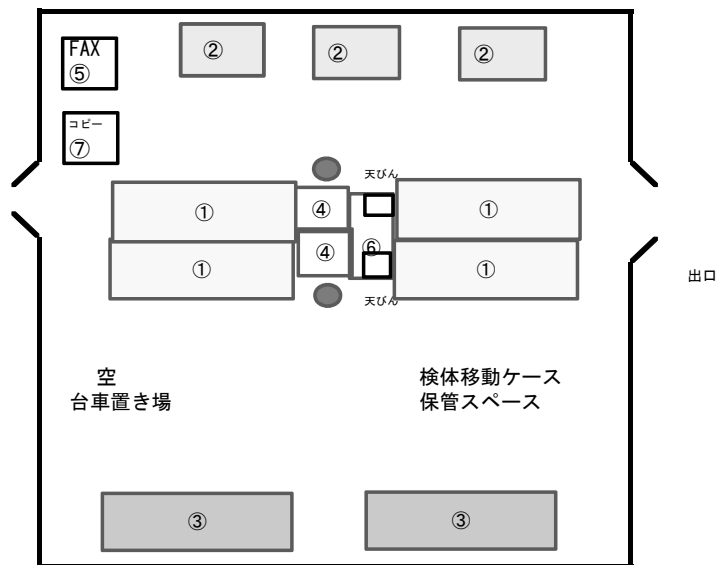
- ①安全キャビネット
 - ②冷蔵庫
 - ③冷凍庫
 - ④遠心機
 - ⑤孵卵器
 - ⑥CO2インキュベーター
 - ⑦手洗い
 - ⑧金庫
 - ⑨両面式高圧滅菌器
 - ⑩パスボックス
- 作業台
● は椅子

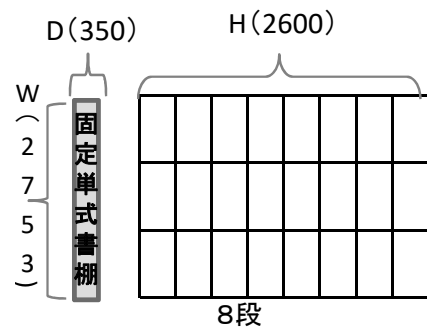
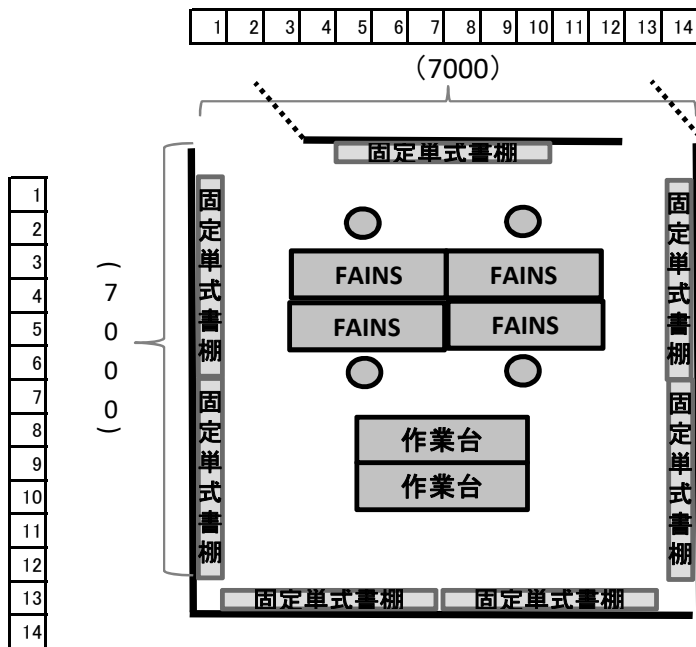






	台数
① 受付台	4
② 大型冷凍冷蔵庫	3
③ 検体棚	2
④ FAINSPC、プリンター	2
⑤ FAX	1
⑥ 小型台	1
⑦ コピー機	1
⑧ 台はかり	1

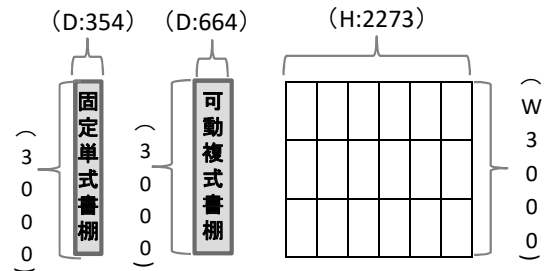
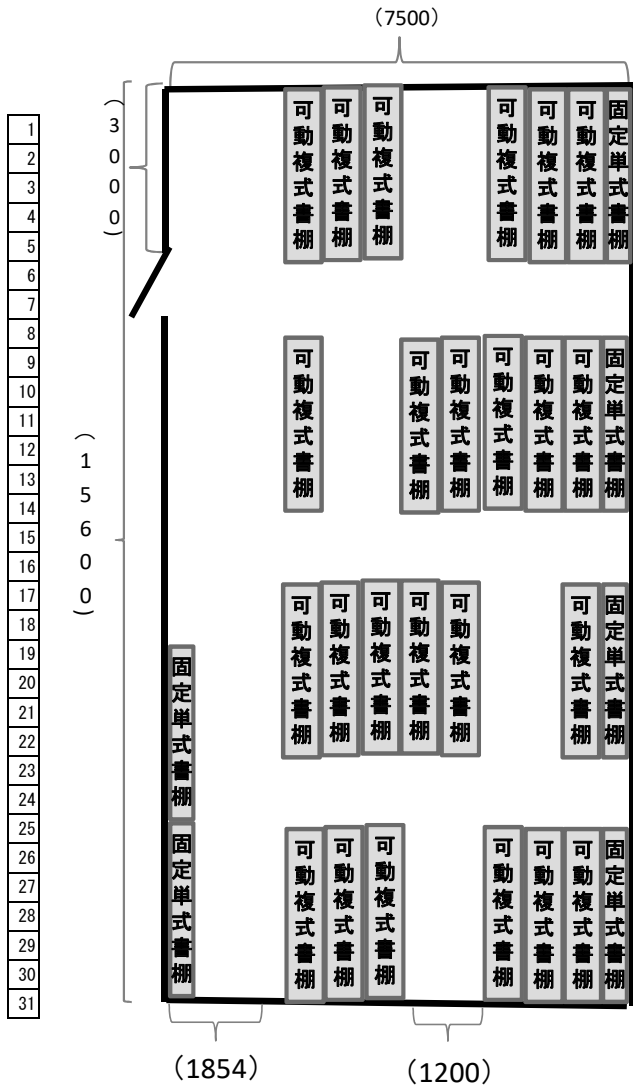




単柱式書架KBA型(3連)
 900×連数(3)+53=2753
 型番:KCJA381-356SOR

机:1400×700×700

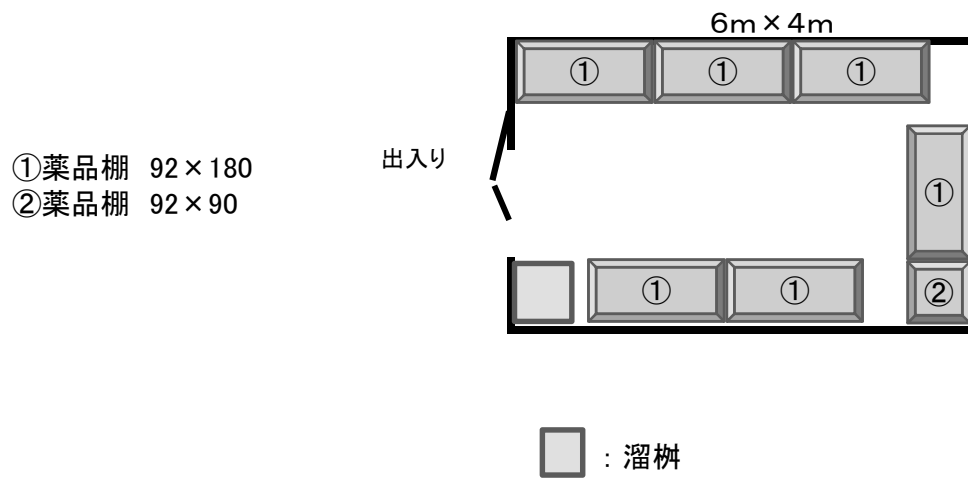
1マス=50cm



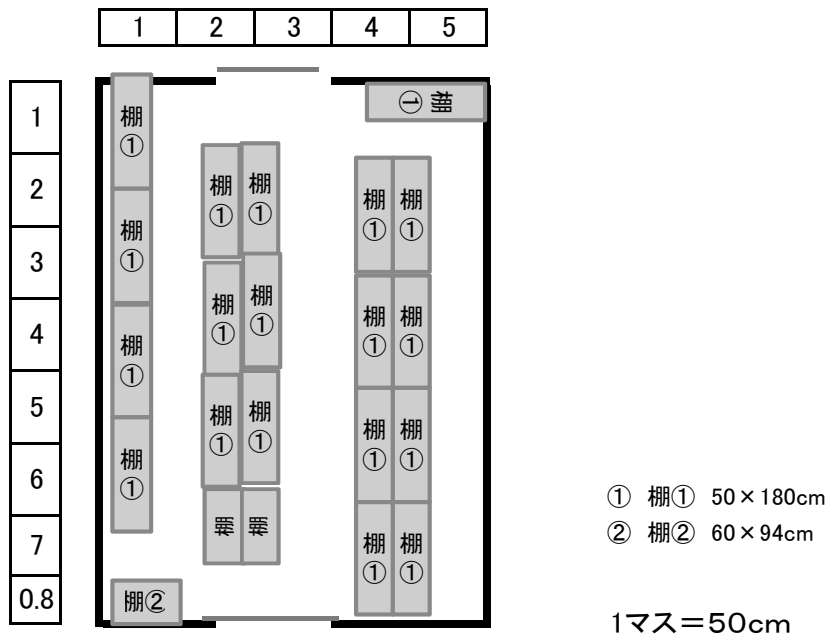
$(664 \times 6) + (18 \times 6) + 354 + 1200 + 1000 = 6646$
 可動式書庫型番：KZU373-347WMR
 固定単式書庫型番：KZU373-347SIR

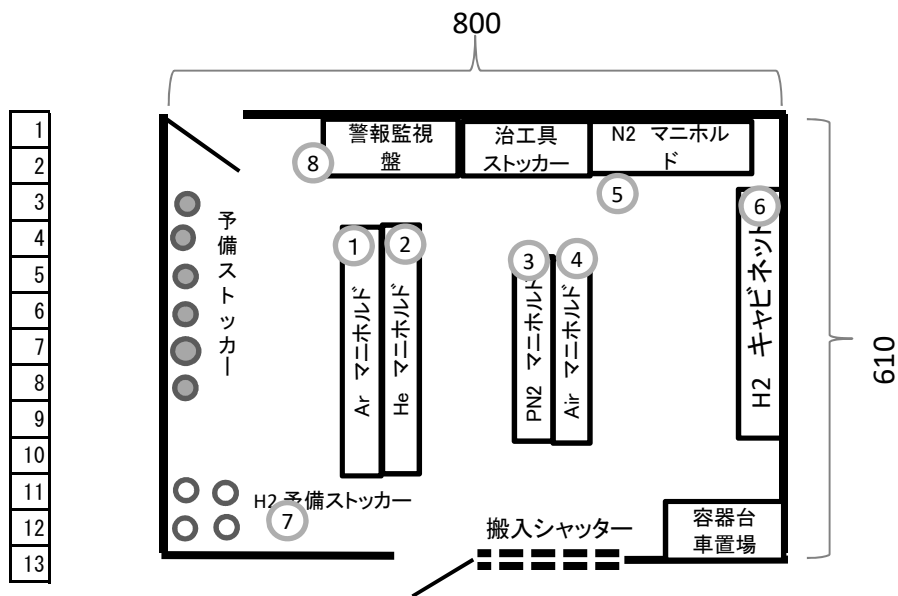
検査結果保管箱 (0.46m × 0.33m × 0.30m) × 250箱 (1年分) 前後 × 4 (保存期間) = 1000箱 (4年分) 前後

1マス = 50cm



1マス=50cm



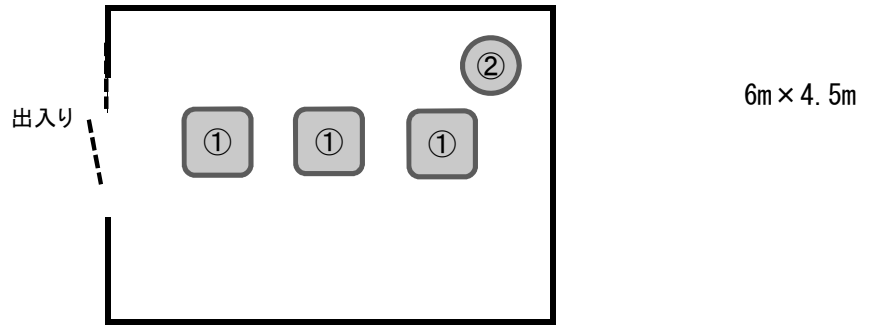


● : ボンベ

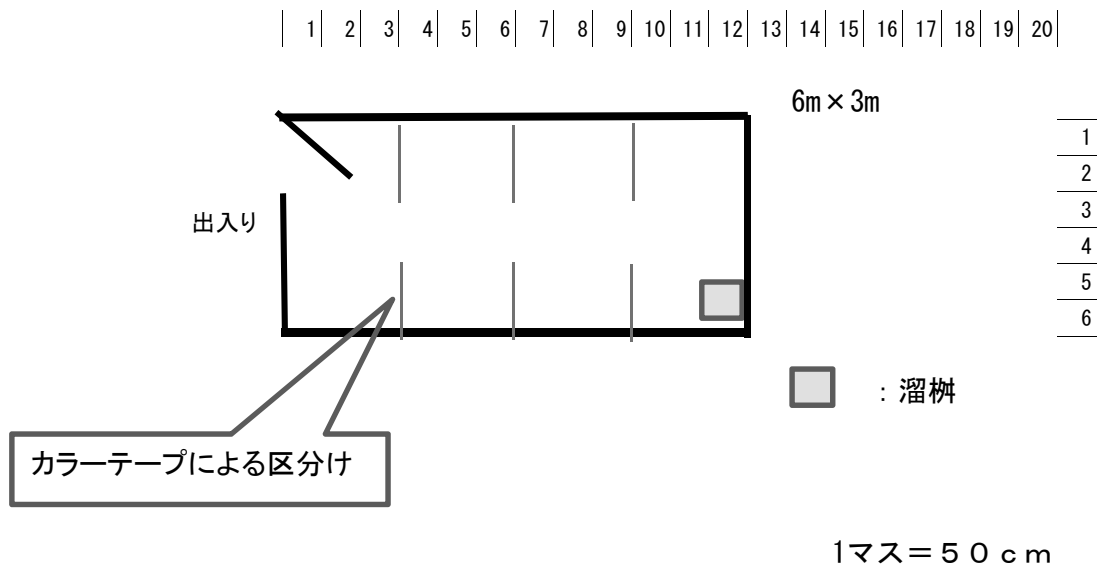
1マス = 50 cm

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----

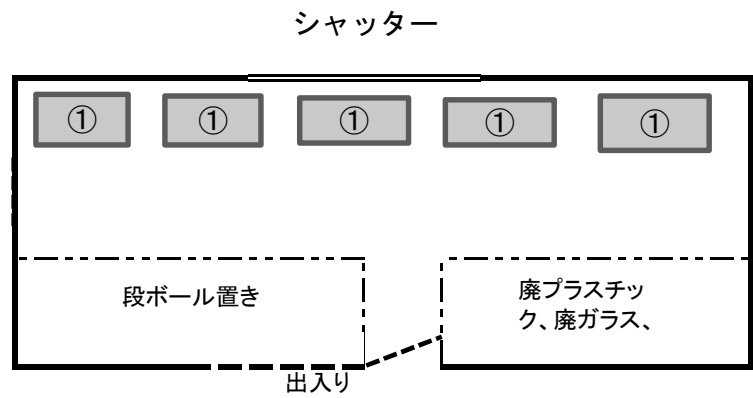
- ①コンプレッサー
- ②圧縮空気タンク
(双方に要ドレイン)

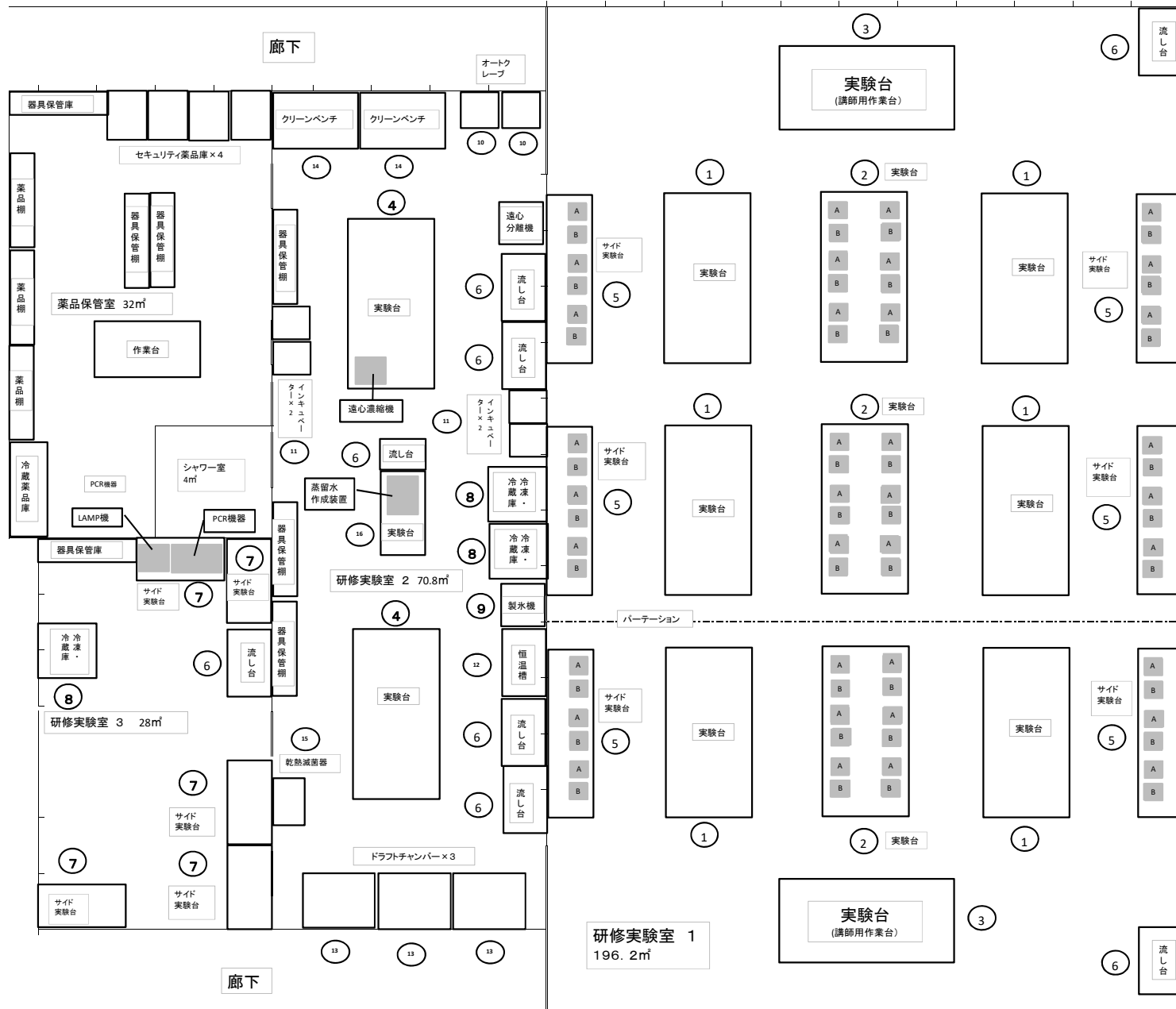


1マス = 50cm



①生ゴミ入コンテナ





参考資料 4-1-3 実験室参考レイアウト